取扱説明書（設置・接続・準備）

LED LCD TV

地上・ＢＳ・１１０度ＣＳデジタルハイビジョン液晶テレビ

このたびはLGデジタル液晶テレビをお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

55LA6400
47LA6400
42LA6400
32LA6400

P/NO : MFL67412911 (1304-REV02)

http://www.lg.com/jp

目次

ヒント

- この取扱説明書で使用されている画面の図は機種や使用環境により実際の画面とは異なることがあります。
- メニューやオプションの項目は機種や外部入力によって異なることがあります。
- 利用できるサービス内容や画面は、予告なく変更または追加となる場合があります。

本書では、設置・接続・準備の説明を記載しています。
本機のさまざまな機能については、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。スマートホーム*から**操作ガイド**を選ぶと、テレビで説明を見ることができます。「操作ガイド」について詳しくは、「操作ガイドを使う」(46ページ)をご覧ください。

*スマートホームはリモコンの**ホーム**⌂ボタンを押すと表示されます。

マイアプリ
LG Smart TV を通じてお楽しみいただけるさまざまな機能が表示されます。

操作ガイドの目次

「操作ガイド」の目次は予告なく変更または追加となる場合があります。

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、商品を正しく安全にお使いいただき、また事故や危険を未然に防ぐためのものです。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

 警告 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意 取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

■ 図記号の意味

禁止

禁止内容（してはいけないこと）を表しています。

プラグを抜く ぬれ手禁止

注意内容（気をつけること）を表しています。

指示

指示内容（しなければならないこと）を表しています。

⚠ 警告　異常や故障のときは

- **本機を倒したり、キャビネットを破損したりしたときはすぐに電源プラグを抜く。**
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに販売店または当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。

プラグを抜く

- **故障や異常に気づいたら本機の電源を切り電源プラグを抜く。**
  - 煙やにおい、異臭がする。
  - 画面が映らない、音が出ない。
  - 内部に水やものが入った。
  そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐに販売店または当社カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

プラグを抜く

⚠ 警告　電源について

- **交流100V以外の電圧で使用しない。**

  火災や感電の原因となります。

禁止

- **電源コードに重いものを載せない。**

  火災や感電の原因となります。

禁止

- **電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしない。**
  火災や感電の原因になります。コードが破損した場合は、すぐに販売店または当社カスタマーサポートセンターにコードの交換をご依頼ください。

禁止

⚠ 警告　電源について

- **電源プラグは根元までしっかりと差し込む。**
  電源コンセントに差し込んだ電源プラグが外れかけたままご使用された場合、火災や感電の原因となります。電源プラグを長い間差し込んだままお使いになる場合には、定期的にご確認ください。

指示

- **電源コードのアース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず、電源プラグをコンセントから抜いて少し時間をおいてから行ってください。**

指示

⚠ 注意　電源について

- **電源コードを熱器具に近づけない。**
  電源コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。**
  感電の原因となる場合があります。

ぬれ手禁止

- **電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。**
  電源コードの損傷や断線により、火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- **タコ足配線をしない。**
  火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- **本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源ボタンまたは電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。**

- **電源コードは、LG Electronicsで供給する純正の商品だけを使用してください。他の製品は使用しないでください。**
  火災、感電の原因となります。

禁止

⚠ 注意　電源について

- **電源プラグがコンセントに接続された状態でコンセントの溝に電気を通すものを入れないでください。また、電源プラグはコンセントから抜いてすぐに触れないでください。**
  感電の原因となります。

禁止

⚠ 警告　設置について

- **屋外や浴室など、水がかかるおそれのある場所や、窓際など水滴の発生する場所に置かない。**
  火災や感電の原因となります。

禁止

- **ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。**
  本機が倒れたり落下したりすると、火災や感電の原因になります。
  また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。

禁止

- **振動のある場所に置かない。**
  振動で本機が動いたり、倒れたりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けががをするおそれがあります。

禁止

- **本機の近くに花びんや水の入った容器などを置かない。**
  水がこぼれて内部に入った場合、火災や感電の原因となります。

禁止

- **設置するときは二人以上で運ぶ。**
  落下や転倒による事故を防ぐため、必ず二人以上で運んでください。
  衝撃を与えないように丁寧に取り扱ってください。
  また、持つときに端子などで指などを傷つけないようご注意ください。

指示

⚠ 注意　設置について

- **転倒・落下防止の処置をする。**
  地震などによる転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するため、転倒・落下防止の処置をしてください。（13ページ）

指示

⚠ 注意 設置について

- **アンテナ工事は販売店に依頼する。**
アンテナ工事は専門の知識が必要です。送配電線への接触などの思わぬ事故や、不完全な設置による落下事故などを防ぐため、必ず販売店にご依頼ください。

指示

- **温度の高い場所に置かない。**
直射日光のあたる場所、閉め切った自動車内、ストーブのそばなどに置かないでください。キャビネットの変形や故障による火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- **湿気やほこりの多い場所、油煙の当たる場所に置かない。**
調理器や加湿器などのそばやほこりの多い場所に置くと、火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- **電源プラグが容易に抜き差しできるように設置する。**
本機は電源プラグの抜き差しで主電源が入/切します。万一の故障や長期間使用しないときに役立ちます。

指示

- **壁に取り付けて使用する場合、壁掛け工事は必ず工事専門業者または、販売店に依頼する。**
工事が不完全な場合、けがの原因になります。

指示

- **キャスター(車)付のテレビ台に乗せるときはキャスターを固定する。**
固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。

指示

- **本機の角度を調整するときは注意してください。**
手や指が挟まると、けがの原因になります。
また、無理に傾けると落下してけがをする恐れがあります。

禁止

⚠ 警告 ご使用について

- **包装に使用しているポリ袋や付属のネジなどは小さなお子様の手の届くところには置かない。**
かぶったり飲み込んだりすると、窒息などの事故につながる恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

禁止

- **内部に異物を入れない。**
通風孔などから内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。特に小さいお子様が誤って異物を入れたりしないようご注意ください。

禁止

- **修理や改造、分解をしない。**
内部には電圧の高い部分があるため、触れると感電の原因となります。故障や点検は、必ず販売店または当社カスタマーサポートセンターにご依頼ください。

禁止

- **雷が鳴り出したらアンテナ線や電源コード、プラグに触らない。**
感電の原因となります。

禁止

- **ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない。**
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。また、健康のため、長時間の連続視聴を避け、目や耳を休めるために休憩を取ることをおすすめします。

禁止

- **風通しの悪い場所に設置したり、密閉した箱などに入れたりしない。**
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁や他の機器と間隔を空けて設置してください。(15ページ)
仰向けや横倒しにして設置したり、また、布などをかけて使用することはおやめください。

禁止

⚠ 注意 ご使用について

- **本機に寄りかかったり乗ったりしない。**
けがの原因となる場合があります。とくに小さなお子様にはご注意ください。

禁止

⚠ 注意　ご使用について

- **液晶画面に衝撃を与えない。**
  ガラスが割れてけがの原因となる場合があります。また、内部の液体が漏れた場合は、直接液体に触れないようにゴム手袋などを着用して布などでよくふき取ってください。液体が目や皮膚に触れた場合は、きれいな水ですすぎ、直ちに医師にご相談ください。

- **旅行などで長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜く。**
  万一の故障のときに火災の原因となる場合があります。

警告　お手入れについて

- **電源コンセントに差し込んだ電源プラグの周りにゴミやほこりが付着していたら、乾いた布でふき取る。**
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
  このような事故を防ぐために、定期的に電源プラグを点検してください。

⚠ 注意　お手入れについて

- **リモコン用の乾電池を正しく使用する。**
  ◦ 指定以外の乾電池は使用しない。
  ◦ 極性表示[＋]と[－]を間違えない。
  ◦ 充電・過熱・分解をしたり、ショートさせたりしない。
  ◦ 表示されている「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や使い切った乾電池はリモコンに入れておかない。
  ◦ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
  液漏れや破裂によって、やけどやけがの原因になる恐れがあります。
  ◦ 乾電池を火中に投入したり、加熱したりしないでください。
  ◦ 乾電池は、極端な温度条件下で保管しないでください。
  ◦ 乾電池は太陽光や炎などの過度の熱に晒さないでください。

指示

- **お手入れのときは電源プラグを抜く。**
  感電の原因となる場合があります。

- **1年に1度は内部の点検を販売店に相談する。**
  本機の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意　3Dについて

- **3Dコンテンツを見るときは下記にご注意ください。**
  ◦ 長時間見ない。
  ◦ 体調の悪い人は見ない。
  ◦ 必ずお子様を監視する。
  詳しくは、この取扱説明書の59ページまたはテレビ本体に内蔵の「操作ガイド」の「3D映像を楽しむ」をご覧ください。

準備の流れ

1 箱を開けて、付属品がそろっているか確認する（9ページ）。
2 スタンドを取り付ける（13ページ）。
3 電源とアンテナや外部機器をつなぐ（17ページ）。
4 リモコンを準備する（35ページ）。
5 ネットワークに接続する（47ページ）。
ネットワークに接続すると、Smart TVのさらに多くの楽しい機能を利用できます。

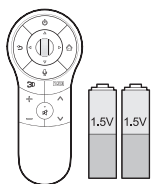
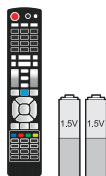
本機の操作について、詳しくはテレビ本体に実装されている「操作ガイド」を確認してください。（46ページ）

設置する

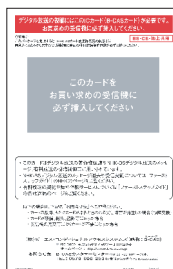
付属品を確認する

本機には次の付属品があります。お確かめください。
不足している物がありましたら、お近くの販売店または当社カスタマーサポートセンター（75ページ）にお問い合わせください。

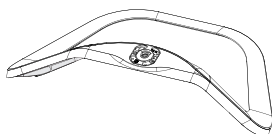
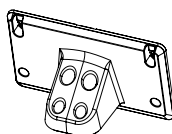
注意

- 安全のためおよび本機の製品寿命を維持するため、推奨品以外は使用しないでください。
- 推奨品以外の使用により生じた損害・損傷は保証いたしかねます。

マジックリモコン／
乾電池（2個、単3形）（35ページ）

標準リモコン／
乾電池（2個、単4形）（38ページ）

取扱説明書
（設置・接続
・準備）

クイック
スタートガイド
／ネットワーク
設定ガイド

B-CASカード（23ページ）

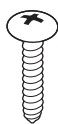
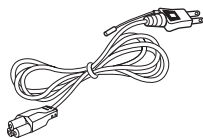
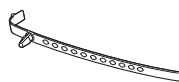
CINEMA 3D メガネ（2個）
（60ページ）

壁掛け用スペーサー（4個）
（16ページ）

スタンドベース（13ページ）

スタンドネック（13ページ）

スタンド固定用ネジ
（8本、M4（長さ 14 mm））
（13、14ページ）

転倒防止バンド（2本）（13ページ）

転倒防止バンド取付用ネジ
（2本、M4（長さ 8 mm））
55LA6400/42LA6400/32LA6400
のみ（13ページ）

転倒防止バンド取付用ネジ
（2本、P4（長さ 8 mm））
47LA6400のみ（13ページ）

転倒防止固定用ネジ
（2本、P4（長さ 20 mm））
47LA6400/42LA6400/32LA6400
のみ（15ページ）

電源コード（39ページ）

ケーブルホルダー（14ページ）

別売アクセサリー

別売アクセサリーは改良のため、予告なく変更されることがあります。その場合は販売店にご相談ください。
別売アクセサリーは指定された機種にのみ使用できます。

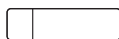
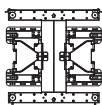
マジックリモコン
AN-MR400

- 別売アクセサリーのマジックリモコンの製品デザインは、左のイメージのものとなります。お買い上げのテレビの機種によっては、付属のマジックリモコンとのデザインが異なる場合がありますので、ご留意ください。製品デザインが異なっても、動作上の影響はございません。

CINEMA 3D メガネ
AG-F***

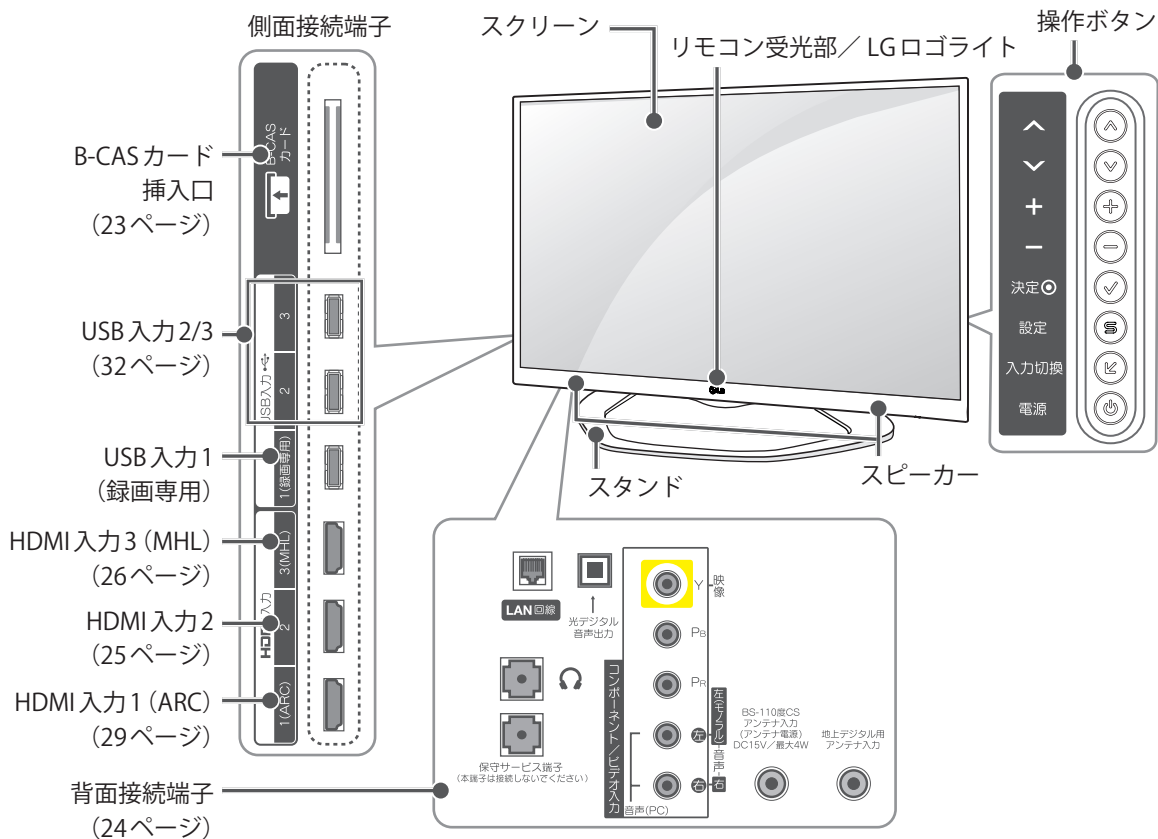
- AG-F*** シリーズは、LG CINEMA 3D専用の3D メガネとなります。通常タイプのメガネや、普段ご使用のメガネの上に付けられるクリップ型の3D メガネなどからお選びいただけます。

デュアルプレイ専用メガネ
AG-F*DP**

- AG-F***DP シリーズは、デュアルプレイ専用のメガネとなります。通常の3D映像の視聴にはご使用になれません。

無線LAN アダプター
AN-WF100

壁掛け金具（16ページ）
LSW230B/LSW430B

マイク内蔵コミュニケーションカメラ
AN-VC400

*別売アクセサリーの機種名やデザインは変更されることがあります。

各部の名称

ボタン	説明
	チャンネルを順番に選びます。
+ −	音量を調節します。
決定	メニューから選択した項目を決定します。
設定	メニューを表示／終了します。
入力切換	入力を順番に切り換えます。
電源	電源を入／切します。

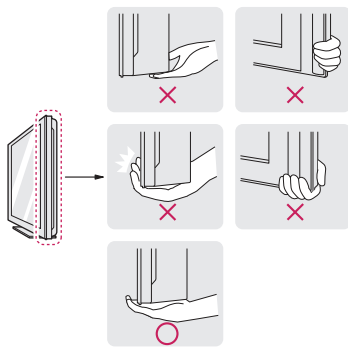
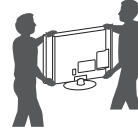
持ち運びのご注意

テレビを動かしたり持ち上げたりする際、以下に注意して、テレビに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

⚠ 注意

- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷したりする場合があります。

- テレビの梱包に使用されていた箱などを使用してテレビを運ぶことをおすすめします。
- テレビを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- テレビを持つ場合、テレビの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。

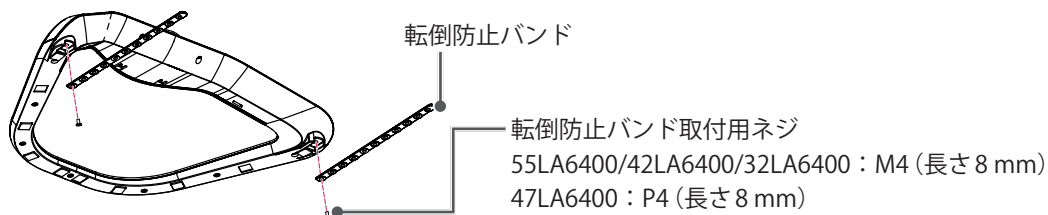
- テレビのフレームの上下をしっかり持ってください。透明な部分やスピーカー、スピーカーグリルは持たないでください。

- 大型テレビを運ぶ際は、2人または3人で運んでください。
- 手でテレビを運ぶ際は、次の図のようにテレビを持ってください。

- テレビを運ぶ際は、テレビに衝撃を与えたり、過度な振動を与えたりしないでください。
- テレビを運ぶ際は、テレビを縦にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでください。

テレビを設置する

本機にスタンドまたは壁掛け金具を付けて、台の上や壁に設置します。

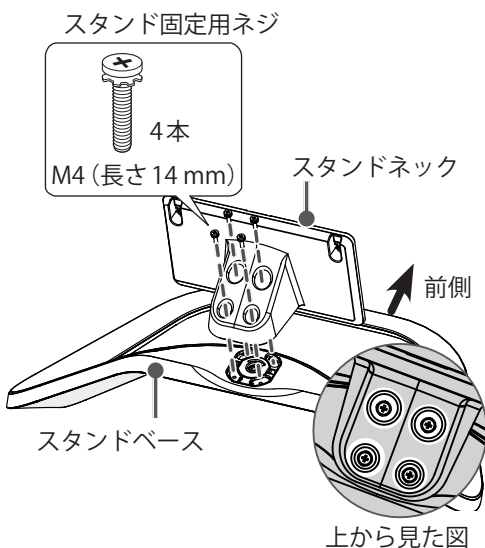
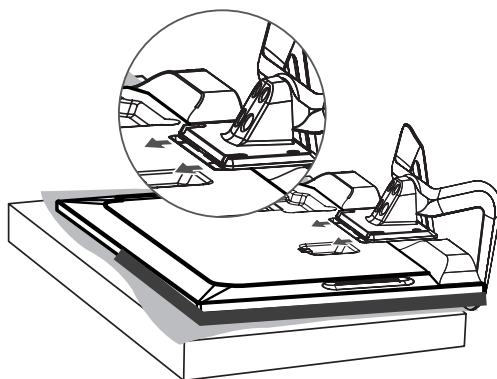
スタンドを取り付ける

本機を壁に取り付ける場合は以下の手順は不要です。

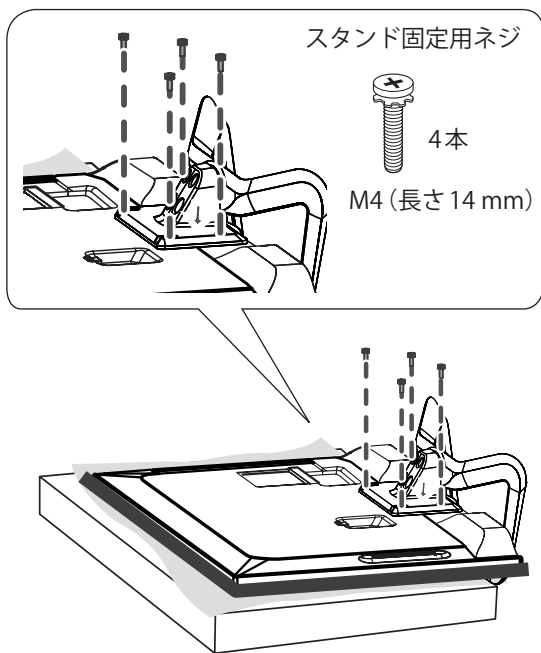
1 転倒防止バンドを使用する場合は、スタンドベースに転倒防止バンドを取り付ける。

⚠ 注意

転倒防止について

- 地震などでの製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策を行ってください。
- 転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。
  また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

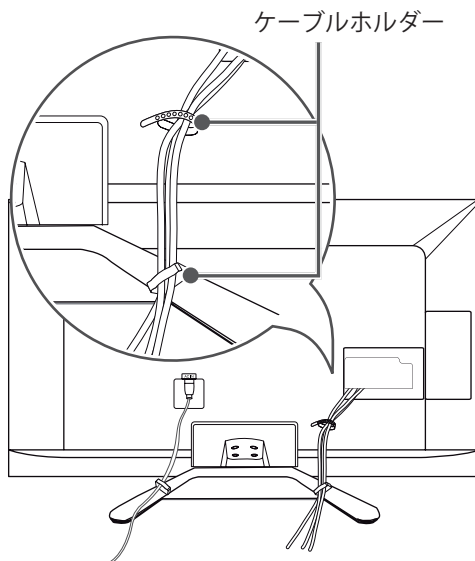
2 スタンドベースにスタンドネックを取り付ける。

3 テレビ画面を下にして台などに置き、スタンドを本機に取り付ける。

⚠ 注意

- スタンドを本機に取り付けるときは、本機の画面が傷つかないように、柔らかい布などを平らなテレビ台などに敷いて、画面を下に向けて置いてください。

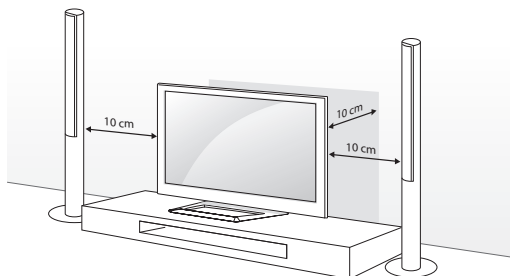
4 スタンドをネジで固定する。

✔ヒント
- スタンドを外す場合は、逆の手順で行ってください。

⚠注意
- テレビが前に傾かないように、締めすぎに注意しながら、ネジをしっかり締めてください。

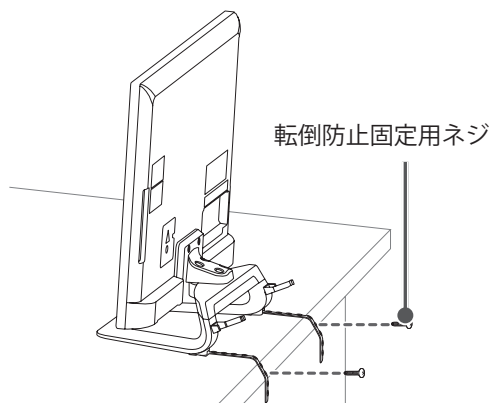
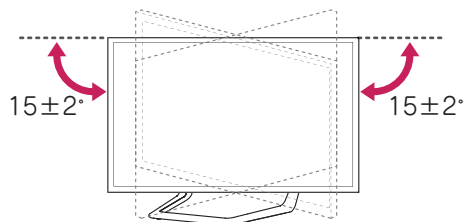
ケーブルをまとめる

1 付属のケーブルホルダーでケーブルをまとめる。

⚠注意
- テレビを移動させるときは、ケーブルホルダーをはずしてください。ケーブルホルダーが壊れたり、故障の原因になったりします。

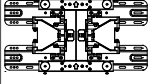
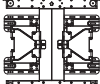
テレビ台に設置する

1 本機を台の上に置く。
- 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。また、すべりやすい面やカーペットなどのやわらかい面、不安定な場所を避けて設置してください。
- スピーカーを設置する場合は、テレビがスピーカーの磁力の影響を受けないようにするため、10 cm以上のスペースを空けてください。
- テレビの裏面は、テレビ内部に熱がこもらないようにするため、壁から10 cm以上のスペースを空けてください。

2 市販のネジで転倒防止バンドをテレビ台に固定する。(47/42/32LA6400は付属です。)固定後は台を壁などに近づけて設置し、小さなお子様などがはいれないようにしてください。

⚠ 注意

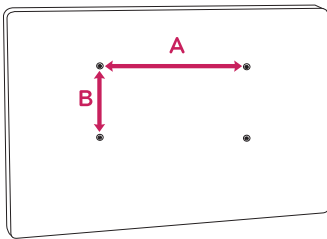
- 熱源のそばにテレビを置かないでください。火災の原因となることがあります。

3 テレビを見やすい角度に調整する(回転角度左右15±2度まで)。
テレビの両側を支えて調整してください。片側だけで押したり引いたりすると、テレビが倒れたり、破損したりすることがあります。

⚠ 注意

- 手順に従って正しく、テレビをテレビ台や壁に設置してください。テレビをたたいたり揺すったりすると、故障の原因になります。
- テレビの向きを調節するときは、指を挟まないように注意してください。
  手や指にけがをすることがあります。また、回し過ぎると故障の原因となります。

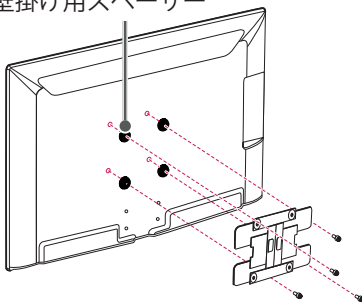
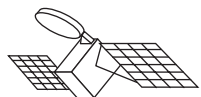
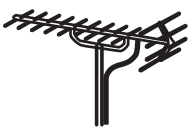
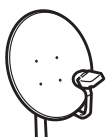
本機背面　本機前面

壁に取り付ける

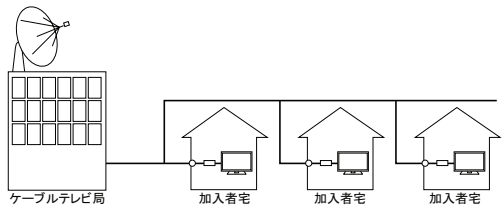
壁掛け設置については、販売店または工事専門業者にご相談ください。
取り付け穴の位置は下記の表をご覧ください。
本機はVESA基準に対応しています。
取り付け穴の位置は下記の表のとおりです。

機種	32LA6400	42LA6400 47LA6400 55LA6400
VESA（A × B）	200 × 200	400 x 400
標準ネジ	M6	M6
ネジの数	4	4
推奨壁掛け金具 （別売アクセサリー）	LSW230B	LSW430B

本体背面図

ヒント

- 壁掛け金具を取り付ける時、図のようにテレビ付属品の壁掛け用スペーサーを取り付けてください。

壁掛け用スペーサー

接続する

アンテナを接続する

アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

放送の種類と必要なアンテナ

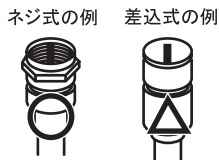
	地上放送	衛星放送
放送の種類	各地の放送局や中継局から放送電波が送られてきます。 地上デジタル放送	放送衛星から放送電波が送られてきます。日本国内の地域で同じ放送が受信できます。 BSデジタル放送 110度CSデジタル放送
必要なアンテナと注意	UHFアンテナ 地上デジタル放送を受信するために、UHFアンテナの交換や方向調整などが必要になる場合があります。	BS・110度CS共用アンテナ BSアナログ放送用のBSアンテナではBSデジタル放送を受信できないことがあります。 BSアンテナやスカイパーフェクTV!用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を受信することはできません。

ケーブルテレビ（CATV）

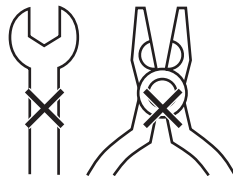
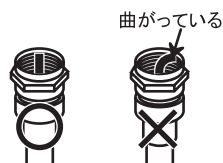
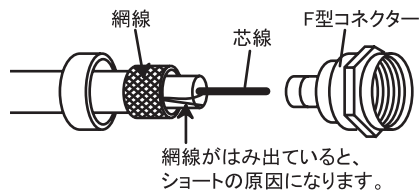
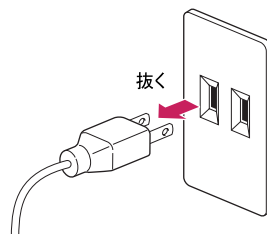
放送電波が1本のケーブルで加入者宅まで届けられるので、アンテナが不要です。

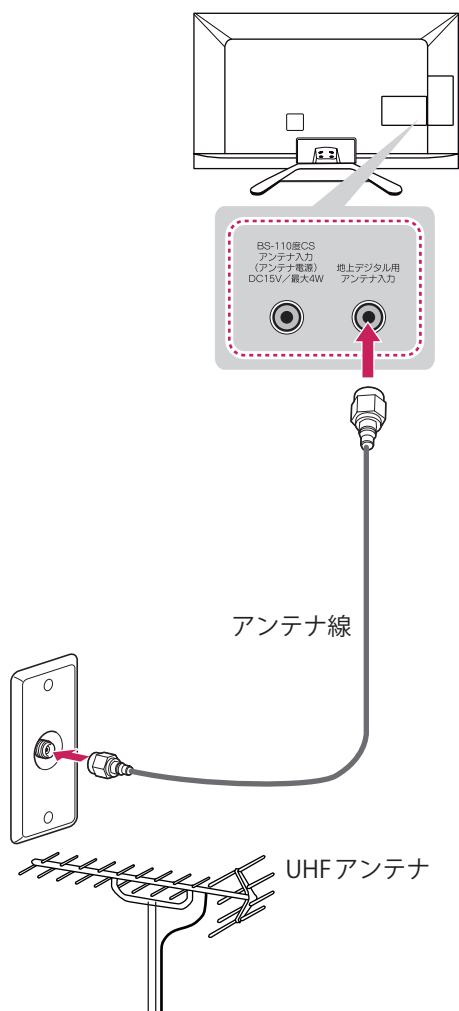
- 本機は地上デジタル放送の「CATVパススルー方式（全帯域）」に対応しています。ケーブルテレビ局が、放送局から送信される地上デジタル放送電波をパススルー方式で再送信していれば、本機で地上デジタル放送を見ることができます。
- ケーブルテレビ局がトランスモジュレーション方式で再送信しているBS・CSデジタル放送などを見るには、専用のホームターミナル（STBと呼ばれることがあります）が必要です。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

アンテナ接続の準備をする

- アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。
  機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類（電波の種類）などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。
- F型コネクターがネジ式のアンテナ線をおすすめします。
  差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。

平行フィーダー線は受信障害の原因になることがあるので、使用しないでください。

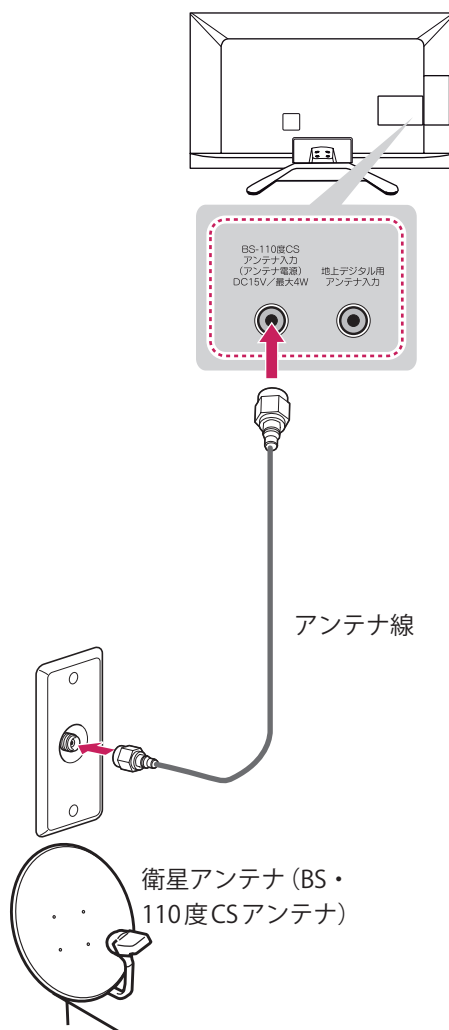
- 壁のアンテナ端子はネジ式の端子が突き出たタイプをおすすめします。
  平行フィーダー用のアンテナ端子①や接続部分がむき出しのアンテナ端子②は、受信障害の原因になることがあります。交換については、電気店などにご相談ください。

- アンテナ線のF型コネクターは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。
  工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機内部が破損する恐れがあります。

- F型コネクターのピンが曲がっていないか確認してください。
  曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

- 同軸ケーブルにF型コネクターを取付加工する場合は、芯線とアース線（網線）がショートしないようにしてください。

- アンテナを接続するときは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

地上デジタル放送用アンテナをつなぐ

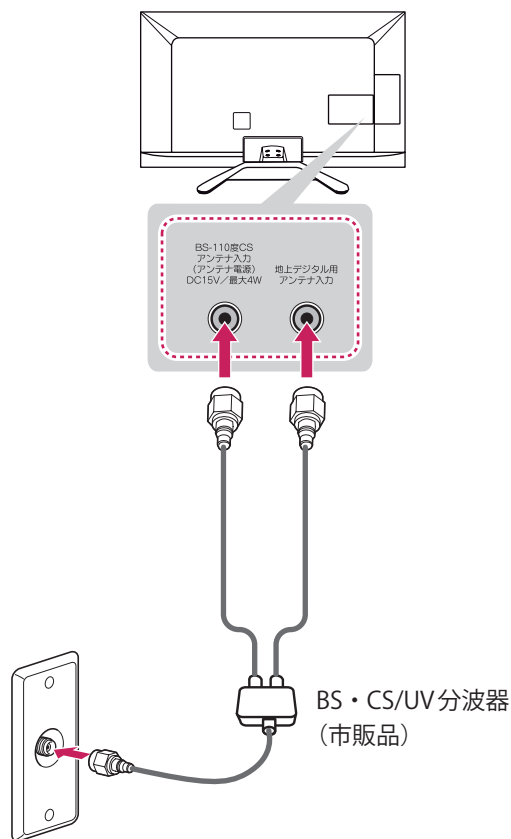
地上デジタル放送を視聴するには、UHFアンテナをテレビに接続します。地域によってはアンテナの取り換えや方向の調整、増幅器（ブースター）の取り付けが必要となることがあります。詳しくはお買い上げ店にご相談ください。

ヒント

- アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
- 室内アンテナの利用は妨害電波を受けやすいので、避けてください。
- アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

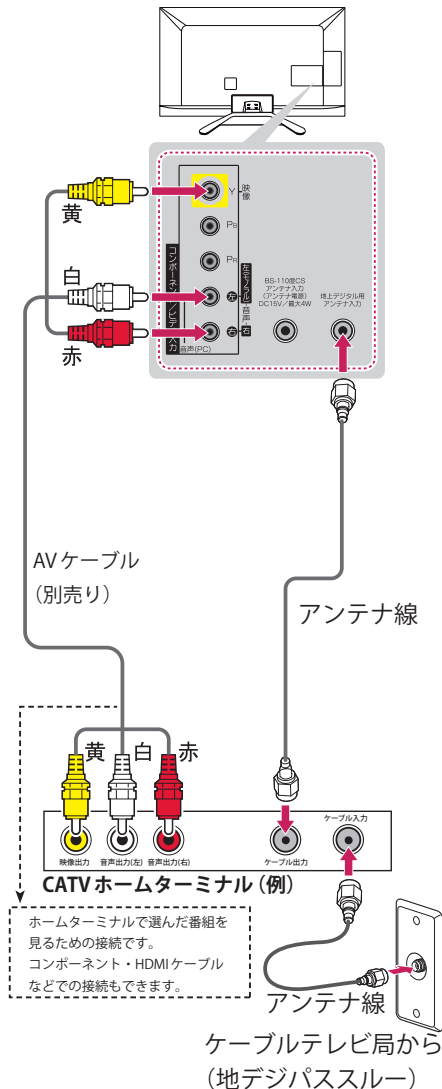
衛星放送用アンテナをつなぐ（BS・110度CSアンテナ）

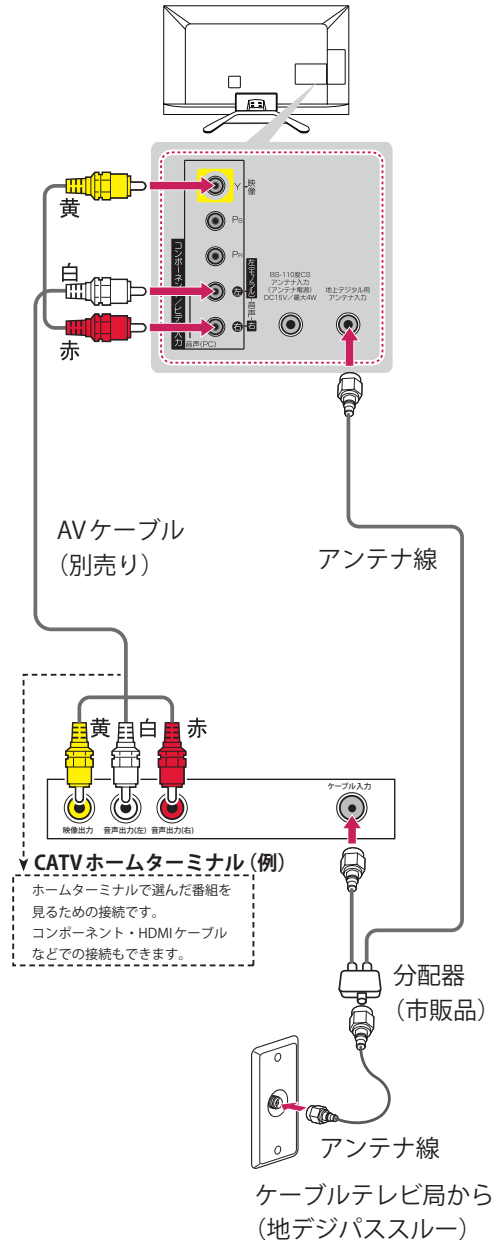
BS・110度ＣＳデジタル放送を視聴するには、衛星アンテナをテレビに接続します。BS・110度CSデジタル放送を見るための、衛星アンテナの設置には技術が必要です。設置するときはお買い上げ店に設置を依頼されることをおすすめします。また、アンテナの取扱説明書もよくご覧ください。

- 衛星放送を他の機器と分配して視聴する場合、分配器は必ず電流通過型のものをご使用ください。電流通過型でない場合は、アンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。
- ブースターや分配器をご使用になる場合は、110度CS対応（周波数2,150MHz対応以上）であることをご確認の上、ご使用ください。
- 衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナやテレビなどの正確な調整が必要です。天気が悪いときには電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったりする場合があります。これは、気象条件によるもので、アンテナやテレビの故障ではありません。

マンションなどの共同受信システムにつなぐ

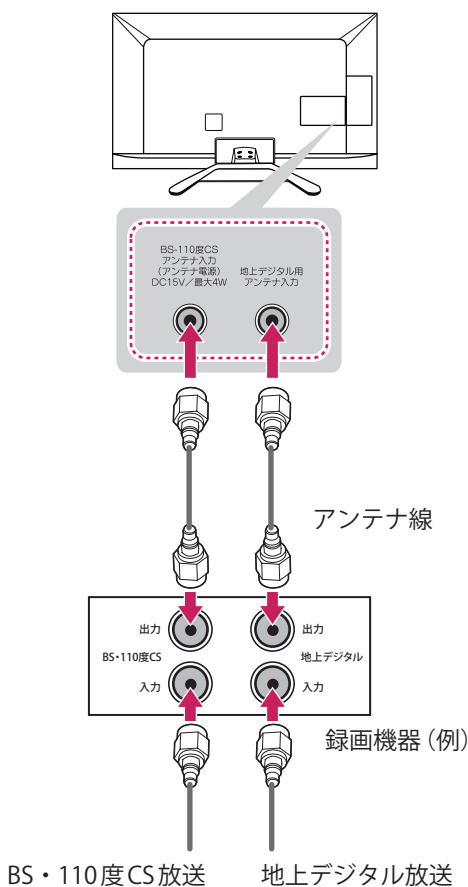
地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続してください。

- マンションなどの共同受信システムの場合で、110度CSデジタル放送に対応していない場合は、110度CSデジタル放送を受信できません。視聴できる放送の種類については、マンションなどの管理会社にご確認ください。
- マンションなどでの共同受信システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません。マイアプリから**設定➡チャンネル設定➡アンテナ設定➡アンテナ電源供給**を**オフ**に設定してください。

ケーブルテレビ放送（CATV）を見る場合

ケーブルテレビ局から地上デジタル放送の電波がパススルー方式で再送信されている場合、ホームターミナルのケーブル出力端子（端子名は例です）と本機のVHF・UHFアンテナ入力端子を接続すれば地上デジタル放送が見られます。
ケーブルテレビ局が独自の方式で送信している放送を見るには、ホームターミナルの映像・音声出力端子などと本機のビデオ入力端子を接続します。（視聴する番組は、ホームターミナルで選びます）
本機のビデオ入力端子やHDMI入力端子に接続して見る番組では、本機の番組表機能や録画機能、予約機能などは使用できません。

ホームターミナルから地上デジタル放送の電波が出力されないとき

地上デジタル放送の再送信電波が出力されないホームターミナルの場合は、UHFに対応した市販の分配器を使用して、以下のように接続してください。

アンテナをテレビと録画機器に接続する

録画機器を経由する場合

BS・110度CSアンテナ用電源は録画機器から供給してください。
ホーム⌂ボタンを押して、スマートホームを表示します。マイアプリから**設定➡チャンネル設定➡アンテナ設定➡衛星➡アンテナ電源供給**を**しない**に設定してください。

ヒント

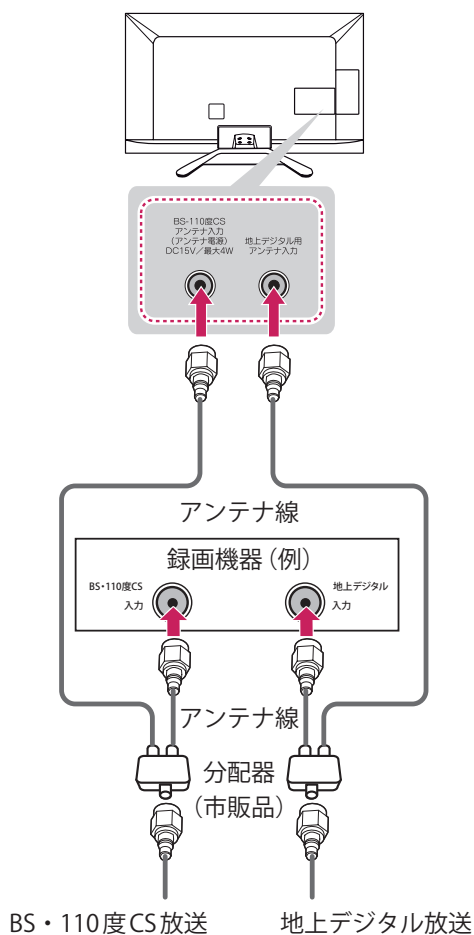
- テレビが映らないとき

アンテナをテレビと録画機器に接続しても（23ページ）、テレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。

－**テレビと録画機器に分配する場合**の接続方法もお試しください。
－録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。

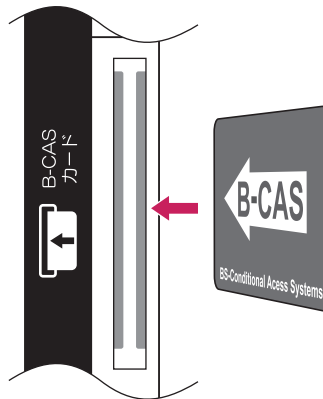
症状が改善されない場合は、**困ったとき**（53ページ）をご覧ください。

テレビと録画機器に分配する場合

録画機器にアンテナ出力端子がない場合や、録画機器やテレビが複数ある場合などは、分配器を使って接続することもできます。
録画機器を経由するとテレビがよく映らない場合などにもこの接続をお試しください。

ヒント

- 録画機器で受信した番組や録画した番組を見るための接続については、**BD・DVDプレーヤー／レコーダー、ビデオを接続する**（25ページ）をご覧ください。
- BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。BS・CS/UV混合器や分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。

B-CASカードを入れる

B-CASカードは本機側面のB-CASカード挿入口にカード表面に印刷されている矢印の方向に合わせて、確実に差し込んでください。

B-CASカードについて

地上・BS・110度CSデジタル放送では、B-CASカードを利用した限定受信システムを採用しています。

B-CASカードの情報を確認するには

ホームボタンを押して、スマートホームを表示します。マイアプリから**設定➡チャンネル設定➡B-CAS情報確認**を選びます。

B-CASカードを抜くには

1. 本体またはリモコンの電源ボタンで電源を切ります。
2. B-CASカード挿入口から、ゆっくりとB-CASカードを抜きます。

ヒント

B-CASカードには、IC（集積回路）が組み込まれています。画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

外部機器を接続する

各種外部機器を本機背面の端子に接続します。

BD プレーヤー/レコーダー

- HDMI - 25ページ
- コンポーネント - 27ページ
- ビデオ - 27ページ

DVDプレーヤー/レコーダー

- HDMI - 25ページ
- コンポーネント - 27ページ
- ビデオ - 27ページ

ビデオ

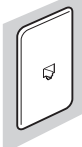
- ビデオ - 27ページ

オーディオ機器

- デジタル - 29ページ

USB

- メモリーストレージ - 32ページ

LAN

- LAN - 47ページ

ヘッドホン

- ヘッドホン - 34ページ

PC

- HDMI - 30ページ

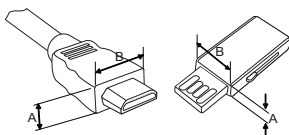
デジタルムービーカメラ/カメラ

- HDMI - 25ページ
- コンポーネント - 27ページ
- ビデオ - 27ページ

ゲーム機

- HDMI - 25ページ
- コンポーネント - 27ページ
- ビデオ - 27ページ

ヒント

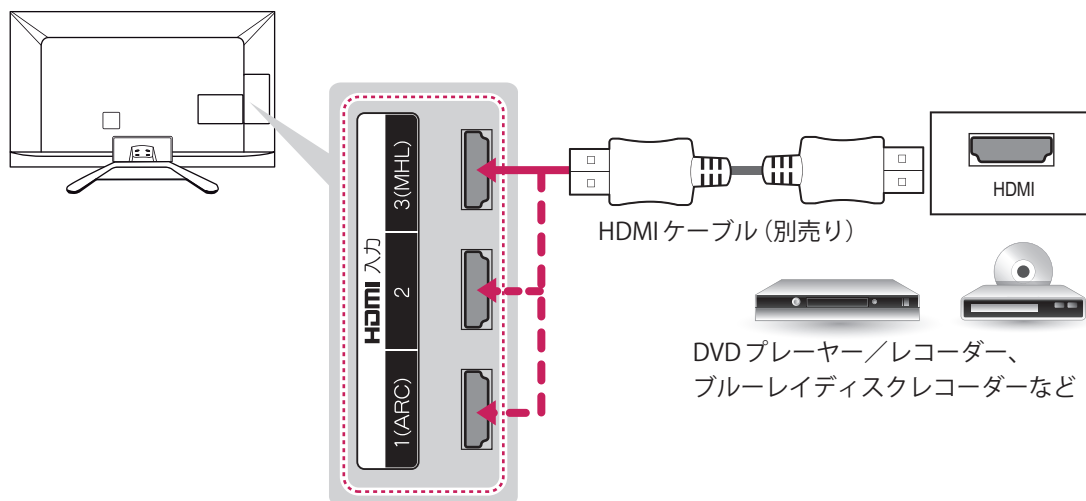
- HDMIケーブルやUSB機器を確実に接続するために、下図のA部分の厚さが10mm以下、B部分の幅が18mm以下の製品をお使いください。
- USBケーブルやUSBメモリーが本機の接続端子に合わないときは、USB2.0対応の延長ケーブルを使用してください。

A：10mm以下
B：18mm以下

BD・DVDプレーヤー／レコーダー、ビデオを接続する

ビデオやDVDプレーヤーなどを再生するための接続です。

HDMI端子に接続する

HDMIケーブルで接続すると、高画質と高音質でお楽しみいただくことができます。本機のHDMI入力端子に接続してください。

HDMI入力のどの端子でも接続できます。

ヒント

- CEC (Customer Electronics Control) 対応の最新High Speed HDMIケーブルを使用してください。
- High Speed HDMIケーブルで1080p以上の送信が検証済みです。
- ARC(Audio Return Channel) 接続（29ページ）
  - ARCはHDMI 1（ARC）入力のみ対応しています。
    ARCに対応している機器をつないでARC機能を利用したいときは、HDMI 1（ARC）入力につないでください。
  - High Speed HDMIケーブルでつないでいるときは、光デジタル音声をつながなくてもデジタル音声を対応機器に送信できます。

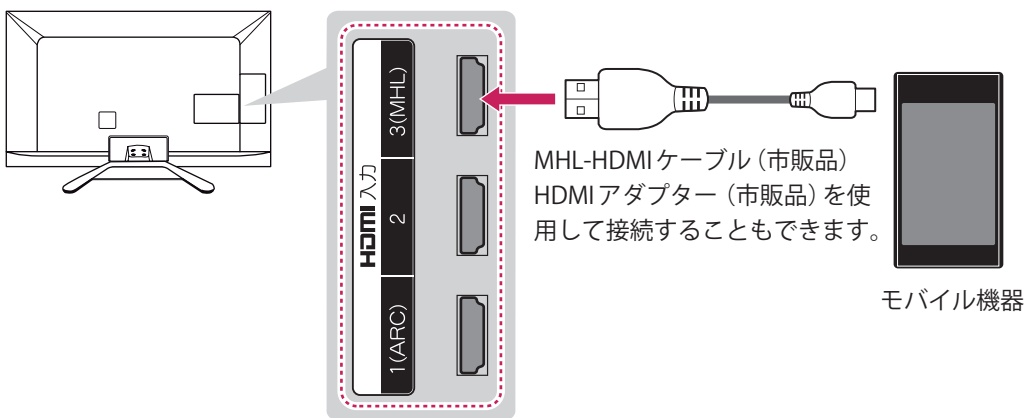
ヒント

- DTVオーディオサポートフォーマット：AAC
- HDMIオーディオサポートフォーマット：Dolby Digital、DTS、AAC、PCM（32 kHz ／ 44.1 kHz ／ 48 kHz ／ 88 kHz ／ 96 kHz ／ 176 kHz ／ 192 kHzまで）
- 出力する機器側の信号切り換えや操作により画面や音声にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。

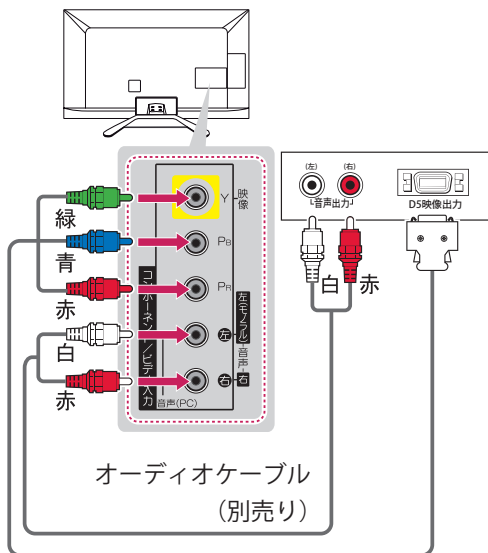
HDMIの対応信号

番号	解像度	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	PIXクロック（MHz）	適用名
1	720x480	31.47	59.94	27.000	SDTV 480p
2		31.50	60.00	27.027	SDTV 480p
3	1280x720	44.96	59.94	74.176	HDTV 720p
4		45.00	60.00	74.250	HDTV 720p
5	1920x1080	33.72	59.94	74.176	HDTV 1080i
6		33.75	60.00	74.250	HDTV 1080i
7		67.432	59.94	148.350	HDTV 1080p
8		67.50	60.00	148.500	HDTV 1080p
9		33.75	30.00	79.20	HDTV 1080p
10		27.00	24.00	63.36	HDTV 1080p

モバイル機器をMHL接続する

本機のHDMI3（MHL）端子にMHL対応の携帯電話やモバイル機器をつないで、携帯電話などのコンテンツを本機で楽しめます。

- MHL-HDMIケーブルは、モバイル機器のMHL専用ケーブルを使用してください。
- MHL機能を使用しないとき、またはテレビの電源スタンバイの場合に接続した携帯電話やモバイル機器の充電が完了したときはMHL-HDMIケーブルを外してください。

コンポーネント端子に接続する

コンポーネント端子のあるDVDプレーヤーなどと、本機のコンポーネント端子を接続すると、よりあざやかな映像を楽しむことができます。本機のコンポーネント入力端子に接続してください。

コンポーネント-D端子ケーブル（別売り）

ヒント

- ケーブルが正しく取り付けられていないと、映像が白黒で表示されたり、色が歪んで表示される場合があります。ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ケーブルを外すときは、ケーブルを無理に引っ張らず、プラグの先を持って外してください。
- 本機と接続している機器の距離が近すぎると、映像や音声が電波によって干渉を受けることがあります。ノイズや雑音がでるときは、お互いを充分に離してください。

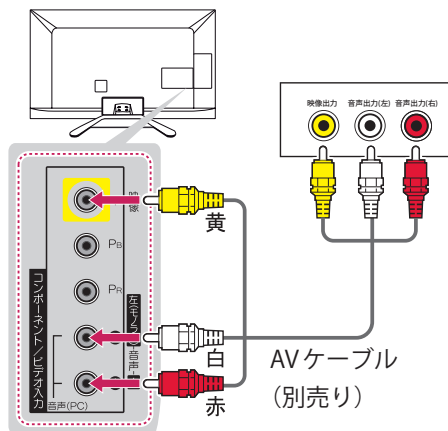
コンポーネントの対応信号

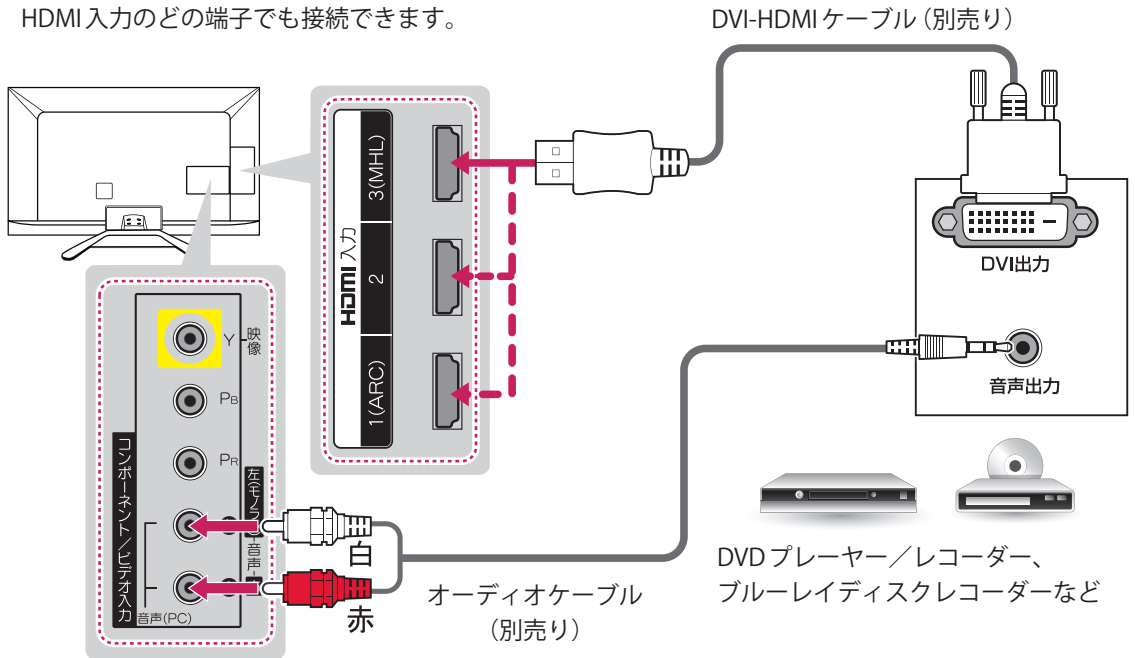
番号	解像度	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
1	720 × 480	15.73	59.94
2		15.75	60.00
3		31.47	59.94
4		31.50	60.00
5	1280 × 720	44.96	59.94
6		45.00	60.00
7	1920 × 1080	33.72	59.94
8		33.75	60.00
9		67.432	59.94
10		67.50	60.00

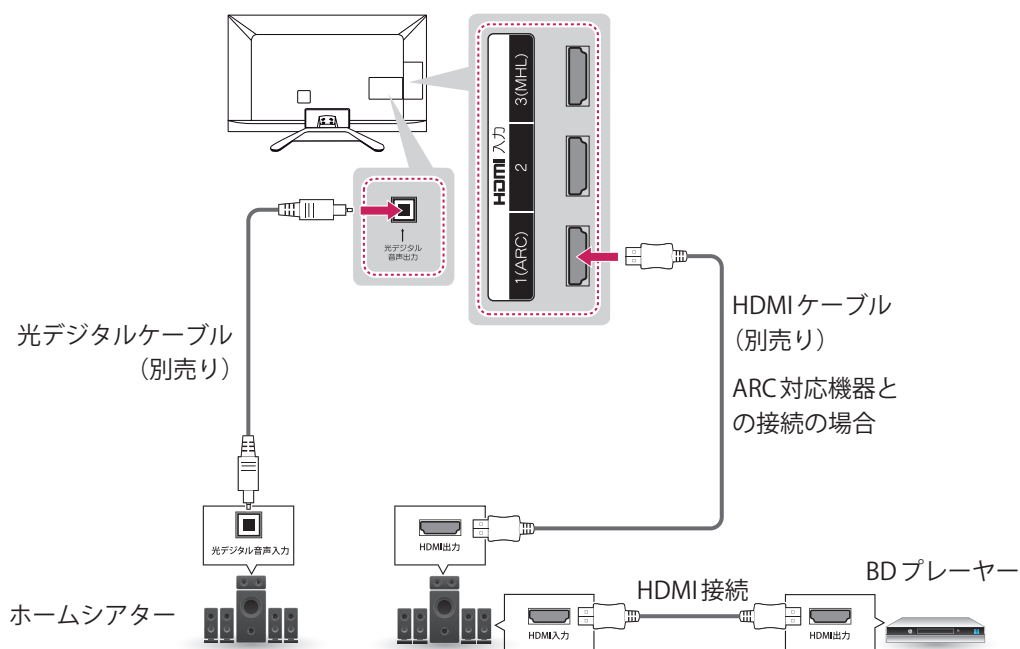
ビデオ端子に接続する

本機と外部機器をAVケーブルでつなぎます。

ヒント

- モノラルのビデオデッキをつなぐときは、オーディオケーブルを本機の音声入力（右）端子につないでください。
- AVケーブルと端子の色が同じになるようにつないでください。

DVI端子とHDMI端子を接続する

DIV-HDMI ケーブルで本機と外部機器をつないで、デジタル映像信号を送信します。オーディオケーブルの接続も必要です。

オーディオ機器を接続する

本機内蔵スピーカーの代わりにオーディオ機器をつないで迫力ある音声を楽しめます。

ARC対応機器を接続したときは、マイアプリから**設定➡音声➡スピーカー設定➡外部スピーカー（光デジタル／ HDMI ARC）➡ARC出力**を**オン**に設定してください。

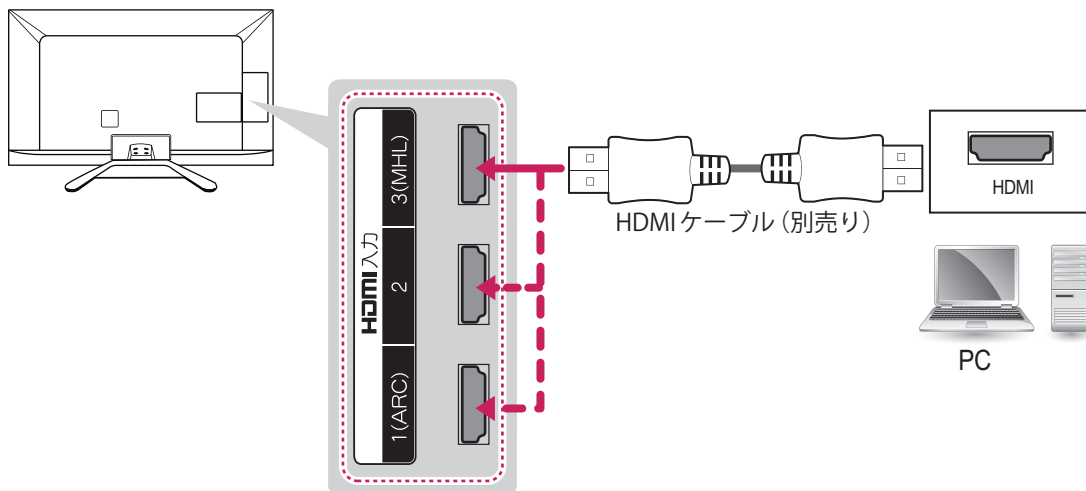
ヒント

- 内蔵スピーカーの代わりに外部機器を使用する場合は、マイアプリから**設定➡音声➡スピーカー設定**で**スピーカー出力**以外の該当の項目を設定してください。
- 光デジタル音声出力端子の中をのぞき込まないでください。レーザービームで目を傷めることがあります。
- 著作権が保護（ACP）されている音声は出力されないことがあります。
- 本機が出力する光デジタル音声出力のサンプリング周波数は、PCMの場合48kHzまたは32kHzです。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号のまま録音することはできません。
- マイアプリから**設定➡音声➡スピーカー設定➡外部スピーカー（光デジタル／ HDMI ARC）➡デジタル音声出力**が**自動**に設定されているとき、MPEG-2 AAC音声では、データ放送の一部の音声（効果音など）が光デジタル音声出力端子からは出力されません。
- 光デジタル音声出力の場合、MPEG-2 AAC音声では、主音声・副音声の切換を本機では行いません。MPEG-2 AACデコーダー側で切り換えてください。
- 本機とHDMIのARC対応ホームシアターでは、光デジタルケーブルで接続しなくても、HDMIケーブルで下記の接続をすることでデジタル音声を楽しむことができます。
  本機（ARC）⇔ホームシアター（ARC）⇔ BD/DVDプレーヤー。
  SIMPLINKについては、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。

PCを接続する

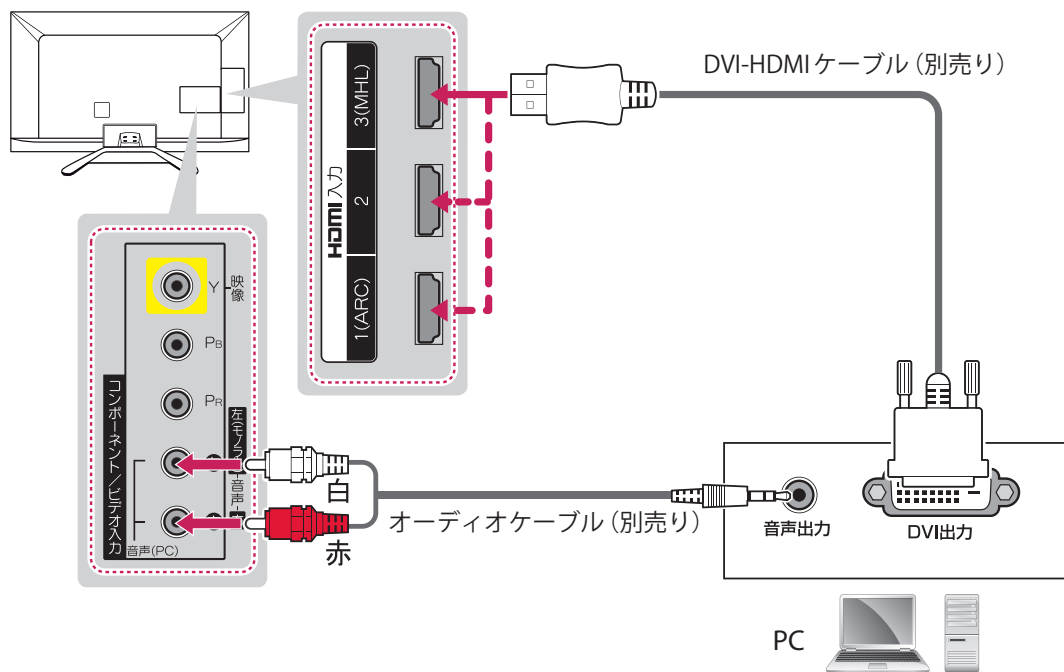
HDMI接続、DVI/HDMI接続の中から、PCの接続端子に合った接続を選んでください。

HDMI接続

HDMI入力のどの端子でも接続できます。

ヒント

- 高画質で表示するにはHDMI接続をおすすめします。
- グラフィックカードによっては、DVIケーブルにHDMIが使用されている場合、DOSモードが機能しない場合があります。
- PCモードでは、解像度、垂直パターン、コントラスト、明るさに関連するノイズが発生する場合があります。ノイズがある場合、PC出力を別の解像度に変更し、リフレッシュレートを別のレートに変更するか、マイアプリから**設定➡映像➡映像モード➡明るさ**／**コントラスト**を映像がクリアになるまで調整してください。
- 水平または垂直周波数の同期入力形式はセパレートです。
- グラフィックカードによっては、特定の解像度設定で映像を画面に正しく表示できない場合があります。
- 画面に静止映像を長時間表示させないでください。静止映像が画面に焼き付く場合があります。
- HDMI-PCを1920x1080で使用しているときに映像が画面からはみだした表示（オーバースキャン）になることがあります。マイアプリから**設定➡映像➡画面サイズ➡ジャストスキャン**に変更してください。

DVI/HDMI接続

HDMI入力のどの端子でも接続できます。

ヒント

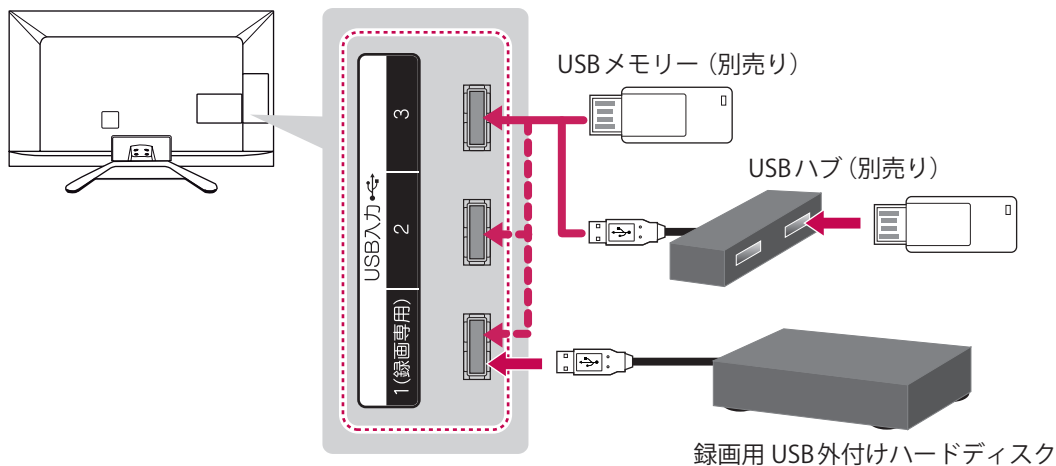
- 映像が画面からはみだした表示（オーバースキャン）になることがあります。この場合はマイアプリから**設定➡映像➡画面サイズ➡ジャストスキャン**へ変更してください。
- 解像度が640 × 480のときは**画面サイズ**を**ジャストスキャン**にできません。

HDMI-PCの対応信号

番号	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	PIX クロック (MHz)	適用名
1	640 × 350	31.468	70.09	25.17	EGA
2	720 × 400	31.469	70.08	28.32	DOS
3	640 × 480	31.469	59.94	25.17	VESA(VGA)
4	800 × 600	37.879	60.317	40	VESA(SVGA)
5	1024 × 768	48.363	60.004	65	VESA(XGA)
6	1152 × 864	54.348	60.053	80.002	VESA
7	1280 × 1024	63.981	60.020	108.0	VESA(SXGA)
8	1360 × 768	47.712	60.015	85.50	VESA(WXGA)
9	1920 × 1080	67.5	60.00	148.50	WUXGA (CEA 861D)

USB機器を接続する

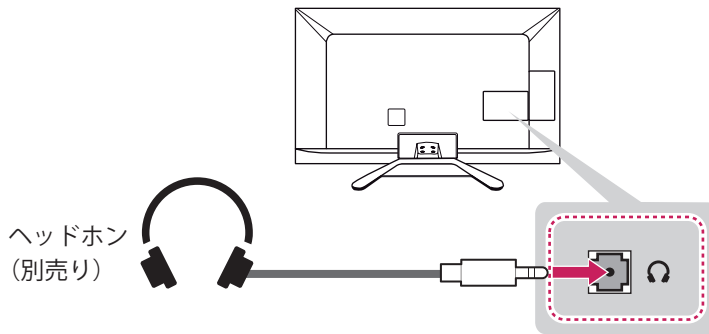
録画用USB外付けハードディスクをUSB1（録画専用）端子に接続することで、デジタル放送を録画できます。はじめて接続した録画用USB外付けハードディスクは、初期化してください。
USBハードディスクの初期化や設定はリモコンの**ホーム**ボタンを押して、**設定➡機器設定➡USBハードディスク**で行います。

USBメモリーやUSB外付けハードディスクをUSB端子につないで、SmartShare™（スマートシェア）でコンテンツを楽しめます。

- USBハブは、ACアダプターを電源コンセントに接続して電源を供給するタイプのものをお勧めします。
- USB端子から電源を共有するタイプでは、接続したUSB機器が安定して動作しないことがあります。
- USB端子に2つ以上のUSBハードディスクなどのUSB機器を接続すると、動作しないことがあります。
- 写真、音楽および動画が記録されたUSBメモリーは、どのUSB端子でも接続できます。

ヒント

- 録画用USB外付けハードディスクはUSBハブを介した接続には対応していません。必ずUSB1（録画専用）端子に直接接続してください。
- USBメモリーの転送速度は、メモリー装置ごとに異なった速度が検知されます。USB2.0未満のUSB機器もサポートされています。
- USB機器はパーティションを分けていないことを前提としています。
- 一部のUSB機器はサポートされないことや、正常に動作しないことがあります。
- USB機器が正常に作動しない場合には、一度USB機器を取り外したあとで、挿しなおしてください。
- 接続しているUSB機器が作動しているときには、本機の電源を切ったリ、USB機器を外したりしないでください。USB機器を作動中に外した場合、保存されているファイル内容や、USB機器自体が損傷することがあります。
- USB端子にはWindowsオペレーティングシステムが利用するFAT32またはNTFSのファイルシステムでフォーマットされたUSB機器以外は使用しないでください。Windowsがサポートしないユーティリティプログラムでフォーマットしたファイルは、認識されないことがあります。
- 外部電源を必要とするUSB機器では、電源を必ず接続してください。電源を接続しないと、USB機器が認識されないことがあります。
- 接続するUSB機器は、電圧5V、定格電流500mA以下で使用してください。もし許容電圧/電流以上の機器を使用した場合、電源不足で正常に動作しなくなることがあります。
- USB機器との接続には、該当機器の製造メーカーが提供する接続ケーブルを使ってください。製造メーカーが提供するケーブル以外のケーブルや、過剰に長いケーブルを使用した場合、USB機器が認識されないことがあります。
- USB機器をUSB延長ケーブルを使用して接続する場合、正常に動作しないことがあります。
- ファイルパス名は247文字まで認識可能です。フォルダーやファイルの名前が長すぎると、表示や認識が正しく行われません。
- USB外付けハードディスクの推奨記億容量は4TB以下です。推奨記憶容量を超える装置は、正しく動作しないことがあります。
- USB機器上のデータは、損傷を受けることがあります。データの損傷、損失や直接または間接の損害について、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- USB外付けハードディスク上に記録保存した録画コンテンツを保存しておきたい場合には、そのUSB外付けハードディスク自体を保存して、新しいUSB外付けハードディスクを取り付けてください。
- 本機対応の写真、音楽、動画ファイルの詳細は、テレビ本体に内蔵している「操作ガイド」をご確認ください。

ヘッドホンの接続

本機にヘッドホンを接続して楽しむことができます。本機のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぎます。

- ヘッドホンをつないだときは、設定メニューで**音声**の設定はできません。

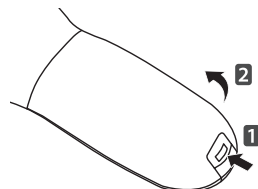
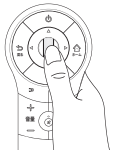
操作する

本機にはマジックリモコンと標準リモコンが付属しています。

マジックリモコンの機能

マジックリモコンに電池を入れるには

電池カバーを開けて付属の単3形乾電池2本を入れ、カバーを閉めてください。
カバー内側の記載に合わせて ⊕、⊖ の向きを正しく入れてください。
「マジックリモコンの電池が弱くなっています。電池を交換してください。」
と表示されたら電池を交換してください。

⚠ 注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を一緒に使用しないでください。

マジックリモコンを振ると、画面にポインターが表示されます。その後マジックリモコンを動かすたびにポインターが移動します。操作したい項目にポインターを当てて、**ホイール(決定)**を押すと選べます。マジックリモコンの基本的な操作については、クイックスタートガイドをご覧ください。

⏻(電源)ボタン
電源を入/切します。

矢印ボタン(上/下/左/右)
メニューやアイテムを選びます。

戻るボタン
前の画面に戻ります。

ホーム⌂ボタン
スマートホームを表示します。

マイクボタン
ボイスサーチなどで音声で文字入力するときに使用します。

ホイール(決定)
- メニューやアイテムを選んで、決定します。
- ホイールを回すとチャンネルを切り換えられます。
- ホイールを1秒以上押し続けると、ポインターが赤い丸の形状に変わり、ジェスチャー操作を利用できます。
- ポインターが表示されているときに、矢印ボタンを押すと、ポインターが消えて通常のリモコンとして働きます。もう一度ポインターを表示させるには、マジックリモコンを左右に振ってください。

3Dボタン
3D映像の視聴に使用します。
2D映像を3D映像に変更し表示することもできます。

音量+/−ボタン
音量を調節します。

チャンネル∧/∨ボタン
順番にチャンネルを選びます。

🔇(消音)ボタン
一時的に音を消します。
もとに戻すときはもう一度押します。

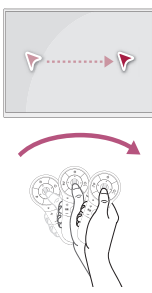
スクリーンキー/クイックメニューボタン
スクリーンキーを表示します。

戻る ホーム 3D 123 /クイックメニュー 音量 チャンネル LG テレビ

マジックリモコンを登録する

マジックリモコンは本機に登録（ペアリング）してから使用します。

登録するには

	テレビの電源がオンになっている状態で、マジックリモコンをテレビ画面の方に向け、リモコンの**ホイール（決定）**を押します。 マジックリモコンが正しく登録できなかった場合は、テレビの電源を一度入れ直してからもう一度登録してください。

登録を解除するには

複数台のLG Smart TVを使用する場合、マジックリモコンを別のテレビに再登録するには、先に以前のテレビへの登録を一度解除する必要があります。

	戻るボタンと**ホーム**⌂ボタンを同時に5秒間押し続けると、マジックリモコンのランプが3回点滅し、登録が解除されます。

マジックリモコンの使いかた

	• マジックリモコンを左右に振ると、画面にポインターが表示されます。ポインターは、マジックリモコンの無操作状態が数秒間続くと、画面から消えます。 • 画面のポインターを動かすには、マジックリモコンをテレビに向けて、上下左右に振ってください。 • マジックリモコンの設定は、本機の**設定➡機器設定➡ポインター設定**から、ポインターの速さやタイプ、サイズ、自動ポジションを設定することができます。

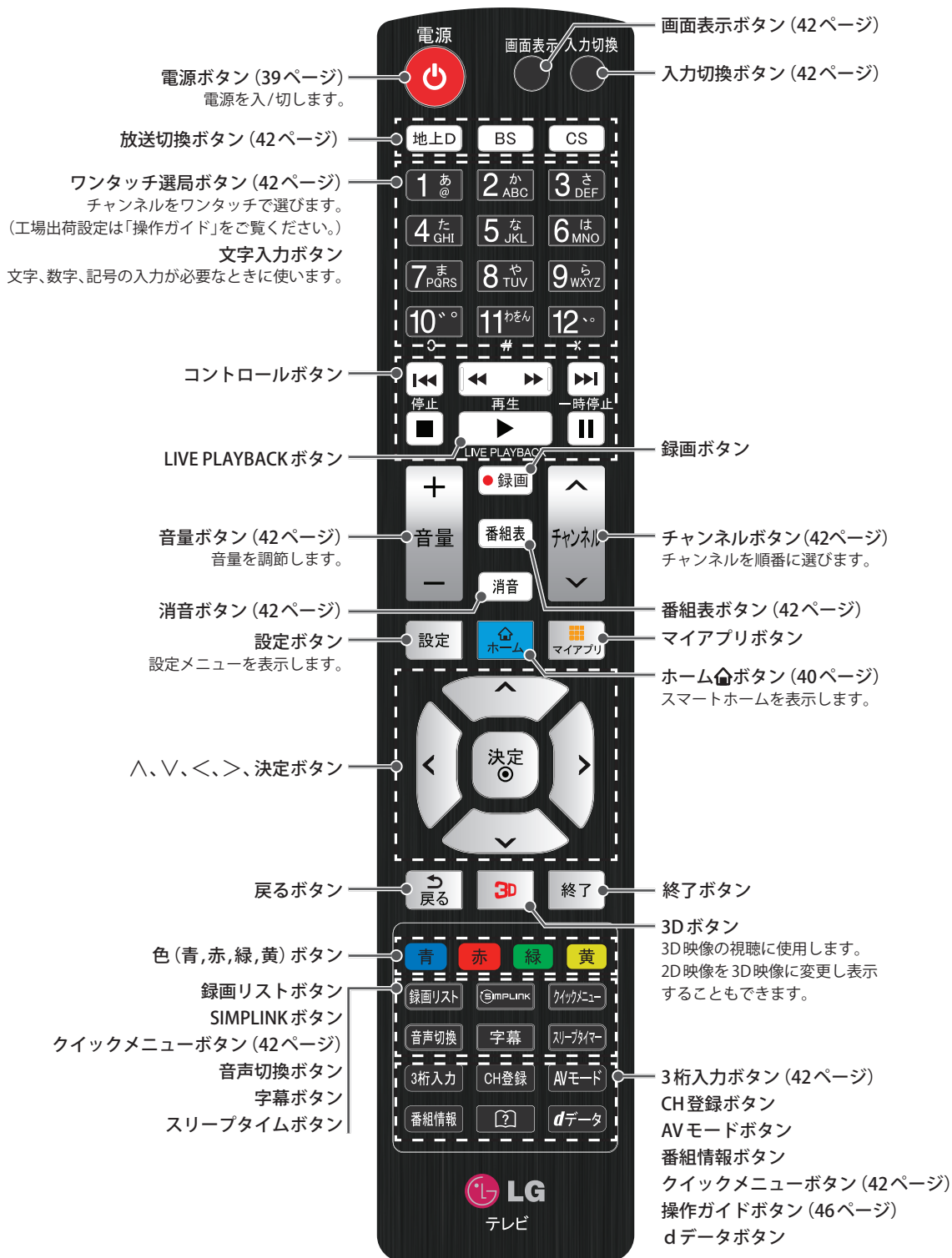
ジェスチャーで操作する

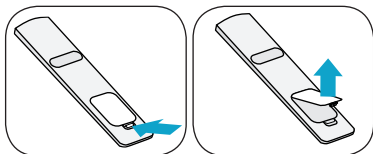
テレビ番組視聴中に**ホイール（決定）**を1秒以上押し続けると、ポインターが通常の形状から赤い丸の形状に変わり、ジェスチャー操作を使用できる状態になります。そのまま**ホイール（決定）**を押し続けながら、下のパターンを描くことでテレビの操作ができます。

ジェスチャー	操作
	前のチャンネルに戻ります。通常のテレビ放送の視聴中にのみ使用できる操作です。
	直近に視聴したチャンネルやアプリを表示します。通常のテレビ放送の視聴中にのみ使用できる操作です。
12.3	入力した数字のチャンネルを選局します。通常のテレビ放送の視聴中にのみ使用できる操作です。
	ブラウザーの表示を一定倍率で拡大します。インターネットブラウザーでのみ使用できる操作です。
	ブラウザーの表示を一定倍率で縮小します。インターネットブラウザーでのみ使用できる操作です。

マジックリモコン使用上の注意

- マジックリモコンで操作できる範囲は10m以内です。推奨範囲から離れて操作する場合は、正常に動作しないことがあります。
- 近くに電子レンジや無線LAN機器など同じ周波数帯（2.4 GHz）を利用する電気製品があると、干渉が発生し正常に動作しないことがあります。
- マジックリモコンを落としたり、衝撃を与えると、故障の原因となります。
- マジックリモコンで操作する際に、周辺の家具や他の人にぶつからないようご注意ください。
- マジックリモコンは精密機械です。取扱の際には、十分にご注意ください。分解や改造は絶対にしないでください。故障や感電の原因になります。
- 破損した場合は、すぐに使用を中止し、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
- 無線LANアクセスポイントは本機から1 m以上離れた位置に設定してください。マジックリモコンとの距離が近すぎる場合、干渉が発生しマジックリモコンが正常に動作しないことがあります。
- マジックリモコンはポインターでの操作を行うため、標準リモコンより電池の消耗が早くなることがあります。

標準リモコンの機能

- 破損した場合は、すぐに使用を中止し、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

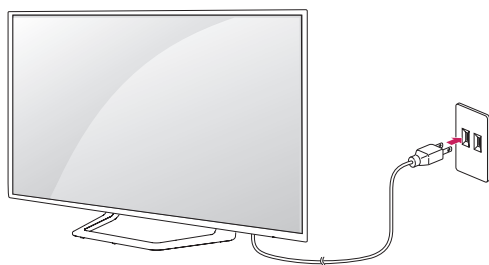
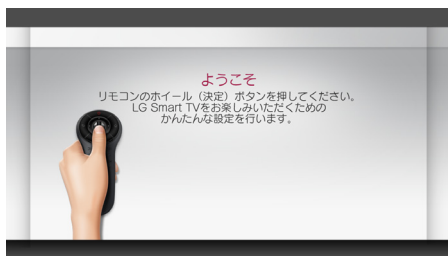
標準リモコンに乾電池を入れるには

カバーを開けて付属の単4形乾電池2本を入れ、カバーを閉めてください。⊕, ⊖の向きを正しく入れてください。リモコンは画面右下にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

⚠ 注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を一緒に使用しないでください。

はじめてテレビを起動したとき

お買い上げ後初めて電源を入れるときや、テレビ本体の設定を初期化したときなどに、**初期設定画面**が自動的に表示されます。

1 電源プラグをコンセントに差し込む。

2 リモコンまたは本体の⏻（**電源**）ボタンを押して、電源を入れる。
画面中央にLGロゴが表示されたあと、「ようこそ」と表示されます。

3 画面に従って、次の項目を設定する。

- **使用環境**
  テレビの使用方法を選択してください。
  ホームモード：ご家庭で使用する。
  ストアモード：販売店での展示に使用する。
- **地域**
  テレビを設置した地域を選択してください。
- **郵便番号**
  テレビを設置した地域の郵便番号を設定してください。
- **ネットワーク**
  テレビを接続するネットワークを設定してください。
- **チャンネルスキャン**
  地上デジタル放送のチャンネル設定をしてください。
  チャンネルスキャンでは、スキャンする帯域を選択します。
  UHF：通常のUHFアンテナを接続している場合。
  全帯域：ケーブルテレビなどに加入してアンテナを接続している場合。
  どちらかわからない場合は、全帯域を選択してください。

4 初期設定を完了する。

完了を選んで**ホイール（決定）**を押すと、初期設定が完了し、Smart TVを楽しむことができます。

スマートホームを使う

現在視聴中の放送や、さまざまなコンテンツ、アプリケーションをひとつの画面で見ることができ、簡単かつ便利に利用できます。
表示内容はカテゴリ別に、視聴中画面（ライブ放送）、コンテンツ（プレミアム、3Dなど）、アプリケーション（マイアプリ）でエリアにまとまり、このエリアをカードと呼びます。
カードとマイアプリはお好みに編集することができます。

1 **ホーム**⌂ボタンを押す。

* 一部、ネットワークに接続していない状態では表示されないコンテンツもあります。
* 画面のイラストは実際と異なる場合があります。

❶ライブカード	現在視聴中の放送画面やテレビの入力端子に接続されている外部機器の映像を表示します。
❷プレミアムカード	ネットワークが接続された状態で、ビデオオンデマンド、ニュースや天気予報などのコンテンツをいつでも簡単に利用できるサービスです。 プレミアムコンテンツは、各地域の特性を考慮して、グローバルコンテンツのほかに国別に特化したサービスが提供されます。一部のプレミアムコンテンツは有料です。
❸コンテンツカード	3D Worldやゲームアプリケーションなどのコンテンツが表示されるカードです。このカードは追加することができ、お好みのカードに編集することも可能です。
❹マイアプリ	テレビの各種設定メニューから番組表、録画リスト、Webブラウザーや各種コンテンツメニューにいたるまで、LG Smart TVを通じてお楽しみいただけるさまざまな機能が表示されるエリアです。このエリアは、お好みのメニュー順に並べ替えたり、カスタマイズすることも可能です。

2 操作したい項目を選んで、**ホイール（決定）**を押す。
詳しくは、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。
「操作ガイド」の使いかたについては、「操作ガイドを使う」（46ページ）をご覧ください。

* サービスはソフトウェアアップデートで変更される場合があります。
* インターネットのサービスによっては、利用登録が必要なサービスがあります。
* 当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
* システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。
* クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信頼できるか充分注意してください。
* 登録した情報は、ホームページのサーバーなどに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合は、登録時の規約などに従って、必ず消去してください。

テレビを見る

マジックリモコンで操作する

1 **ホーム**ボタンを押して、スマートホームを表示します。
ライブ放送を視聴できます。

2 **ライブ放送**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。
全画面のライブ放送表示になります。

マジックリモコンでは下記のボタンで操作します。また、ソフトウェアキーボードを表示して操作することもできます。

ボタン	説明
（電源）	テレビの電源を入／切します。
（ホイール（決定））	ホイールを回してチャンネルを切り換えます。ホイールを1秒以上押し続けると、パターンジェスチャーでチャンネルを切り換えられます。（36ページ）
音量（＋／－）	音量を調整します。
チャンネル（∧／∨）	順番にチャンネルを選びます。
（消音）	一時的に音を消します。もとに戻すときはもう一度押します。

標準リモコンで操作する（基本的な選びかた）

標準リモコンでは下記のボタンで操作します。

ボタン	説明
地上D BS CS	放送種別（地上D、BS、CS1、CS2）を選択します。
1 - 12	チャンネルをワンタッチで選びます。
チャンネル	順番にチャンネルを選びます。 地上デジタル放送は初期スキャン（地上Dスキャン）を行うことにより、各地域に合わせた放送局が割り当てられます。
3桁入力	チャンネル番号を入力して選局します。 - 放送種別（地上D、BS、CS）ボタンで放送種別を選択し1～10ボタンで3桁のチャンネル番号を入力します。 地上デジタル放送の場合、3桁のチャンネル番号が県外の放送局と重複する場合があります。枝番号のあるチャンネルは、自動的に本機画面の右側に設定画面が表示されます。枝番を選択し、決定ボタンを押して選局します。チャンネル∧/∨ボタンでは、順次枝番チャンネルを含めてチャンネル選局ができます。
音量	音量を調節します。
消音	一時的に音を消します。 もとに戻すときはもう一度押します。
入力切換	外部入力を切り換えます。
クイックメニュー	クイックメニューを表示します。
番組情報	番組の情報を表示します。
画面表示	チャンネルバナーを表示します。チャンネルバナーから、番組名やチャンネル情報、時刻などを確認できます。
番組表	番組表（EPG）を表示します。 番組表で、視聴・録画の予約を行うことができます。

ヒント

放送切換ボタン、**入力切換**ボタン、数字ボタン、**チャンネル**ボタンを押すことでも、電源を入れることができます。

番組表を表示する

1 デジタル放送視聴中に**ホーム**⌂ボタンを押して、マイアプリを表示する。

2 マイアプリから**番組表**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

リモコンボタン	説明
青	現在時間の表示にします。
赤・緑	前日/翌日への切り換えができます。
黄	カーソル位置の番組を録画予約します。
クイックメニュー	番組表のクイックメニューを表示します。

3 表示を終了するときは、**終了**ボタンを押す。

録画する・予約する

見ている番組を録画する

チャンネルバナーを選択して、かんたんにワンタッチ録画を行うことができます。詳細については、テレビ本体に内蔵の操作ガイドの「見ている番組を録画する」をご参照ください。

ヒント

- チャンネルバナーの**録画**ボタン、**番組情報**ボタン以外の部分にマジックリモコンのポインタを位置付けて、**ホイール（決定）**を押すと**番組表**を表示します。

ワンタッチ録画の設定を行う

1 **ホーム**⌂ボタンを押す。

2 マイアプリから**録画設定**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

画面のイラストは実際とは異なることがあります。

3 **機器設定**を選んで、ワンタッチ録画の設定を行う。

録画予約する

放送開始前の番組を予約できます。

1 **ホーム**⌂ボタンを押して、マイアプリを表示する。

2 マイアプリから**番組表**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

3 録画したい番組を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

4 番組情報画面の**録画予約**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

5 **決定**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。
録画予約を終了します。番組表に ◷（赤）マークが表示されます。

ヒント

- 詳細設定で、毎週の繰り返し録画など詳細な設定ができます。

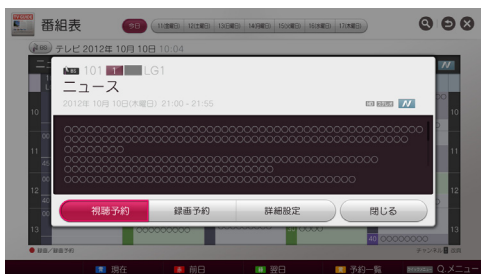
視聴予約をする

放送開始前の番組を予約できます。

1 **ホーム**⌂ボタンを押して、マイアプリを表示する。

2 マイアプリから**番組表**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

3 視聴したい番組を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

4 **視聴予約**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

5 **決定**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。
視聴予約を終了します。番組表に ◷（緑）マークが表示されます。予約した時間になると、本機の電源が入ります。終了時間まで無操作状態が続くと、番組終了と同時に電源が切れます。

ヒント

次の操作については、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。
予約一覧／予約の削除／詳細な予約設定／重複予約／録画した番組を見る

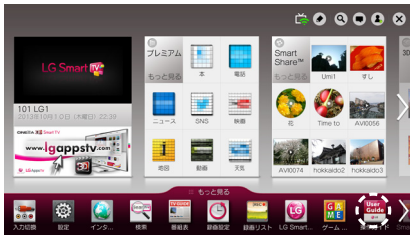
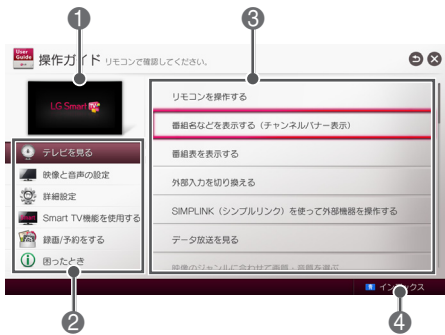
操作ガイドを使う

テレビ本体に内蔵されている「操作ガイド」で、本機の機能の詳しい説明をご覧になれます。
「操作ガイド」の目次は3ページをご覧ください。

1 **ホーム**⌂ボタンを押して、マイアプリを表示する。

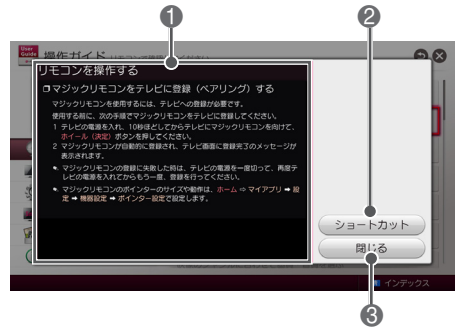
2 マイアプリから**操作ガイド**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

画面のイラストは実際とは異なることがあります。

操作ガイド

❶ 受信中の映像。

❷ カテゴリーを選びます。

❸ 項目を選びます。∧／∨を選ぶとページを送れます。

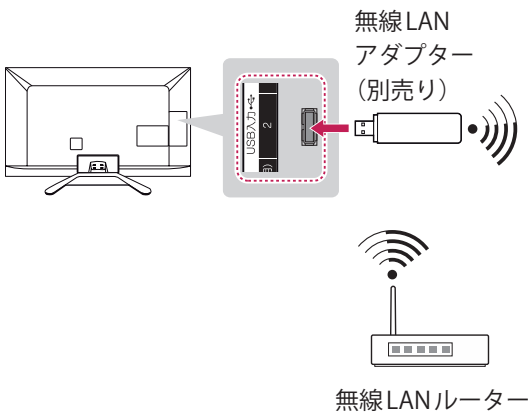
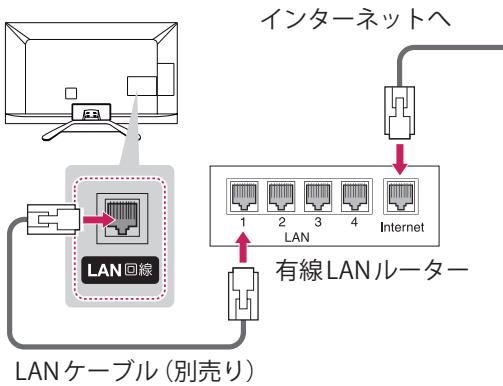
❹ 索引を表示します。

❶ 選んだ項目の説明。∧／∨を選ぶとページを送れます。

❷ 説明されている機能を直接操作できます。

❸ 説明画面を閉じます。

ネットワークに接続する

有線LANまたは無線LAN接続を利用して、本機をネットワークに接続することで、さまざまなコンテンツを楽しむことができます。
本機で、サーバー機器に保存されているコンテンツを再生することができます。

無線LANに接続する

有線LANに接続する

ネットワーク設定をする

1 **ホーム**⌂ボタンを押して、マイアプリを表示する。

2 マイアプリから**設定**を選んで、**ホイール(決定)**を押す。

画面のイラストは実際とは異なることがあります。

設定

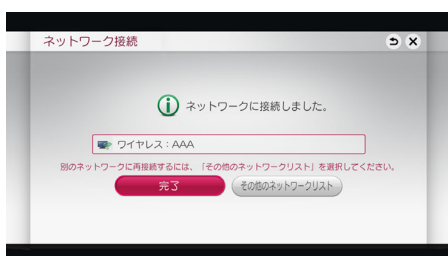
3 **ネットワーク➡ネットワーク接続**を選んで、**ホイール(決定)**を押す。

4 **接続開始**を選んで、**ホイール(決定)**を押す。

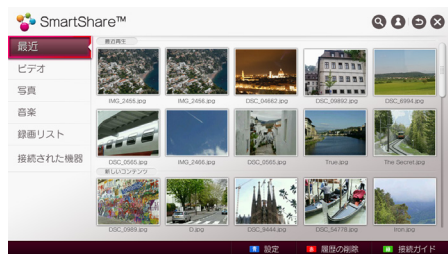
自動的に接続可能なネットワークを検索します（有線LANが優先されます）。
中止を選んだり、接続に失敗した場合は接続可能なネットワークのリストが表示されます。接続するネットワークを選んでください。

鍵マークが表示されている無線LANルーターを選んだ場合は、セキュリティキーを入力してください。

接続されたネットワークが表示されます。

5 **完了**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

他のネットワークリストを選んだ場合は、他の接続可能なネットワークのリストが表示されます。

SmartShare™（スマートシェア）を使用する

HDMI、USB記憶装置、Wi-FiやDLNA認定サーバー機器に保存されたコンテンツを、SmartShare™の画面ひとつにすべて表示・再生することができます。

機器を接続する

- 録画用USBハードディスクを接続する：「USB機器を接続する」（32ページ）
- USBメモリーを接続する：「USB機器を接続する」（32ページ）
- HDMI機器を接続する：「HDMI端子に接続する」（25ページ）

PCやスマートフォンなどをWi-FiまたはDLNA機能を利用して本機に接続する場合は、あらかじめ接続機器側のネットワーク設定を行う必要があります。この設定については、接続機器側の取扱説明書などをご覧ください。

ヒント

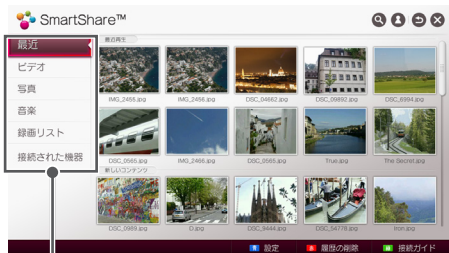
SmartShare™で利用できるファイル形式については、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。

注意

- DLNA認定サーバー（レコーダーなど）が公開している動画で、本機が対応しているファイル形式のコンテンツであっても再生出来ない場合があります。
- DLNA認定サーバー（レコーダーなど）が公開している動画の早戻し（◀◀）、早送り（▶▶）や早送り再生の操作には対応していません。

SmartShare™の画面について

1 **ホーム**ボタンを押して、マイアプリを表示する。

2 SmartShare™を選んで、**ホイール（決定）**を押す。

メニュー	説明
最近	新しいコンテンツリスト。
ビデオ／写真／音楽	ビデオ／音楽／写真などの種類別で選べます。
録画リスト	録画した番組を視聴できます。
接続された機器	接続した機器を選択してコンテンツを視聴できます。

SmartShare™の設定については、本体に内蔵の「操作ガイド」をご参照ください。

PCを DLNA 接続する

本機と同一のホームネットワークに接続し、PCのDLNA接続アプリケーションを起動することで、PC側のコンテンツを、本機のSmartShare™で楽しむことができます。
Nero MediaHome4が使用できます。
「Nero MediaHome4」は、http://www.lg.com/jpより、バンドル版をダウンロードできます。詳しくは、http://www.nero.com/jpnをご覧ください。

スマートフォンを DLNA 接続する

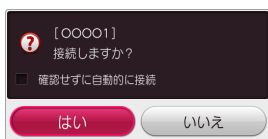
スマートフォンを本機と同一のホームネットワークに接続し、スマートフォンのDLNA接続アプリケーションを起動することで、スマートフォン側のコンテンツを本機のSmartShare™で楽しむことができます。
スマートフォンのDLNA接続用アプリケーションは、スマートフォン側の取扱説明書をご覧ください。

Wi-Fi Directを使用する

Wi-Fi Directの機能を利用して、画面を共有できます。

1 **ホーム**⌂ボタンを押して、マイアプリを表示する。

2 マイアプリから**設定➡ネットワーク➡Wi-Fi Direct**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。
Wi-Fi Directが**オン**に設定されているときは、接続可能な機器のリストが表示されます。

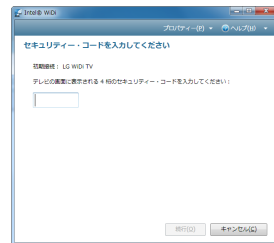
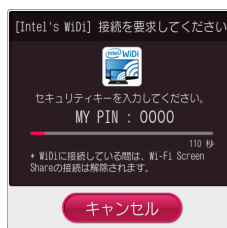
3 すぐに接続するときは、**はい**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。
Wi-Fi Directが本機に表示されます。

電波干渉を最小限に抑えるために、使用しないときは**Wi-Fi Direct**を**オフ**にしておいてください。

*Wi-Fi directの接続については、接続するWi-Fi機器やWi-Fi機器のアプリケーションソフト側の取扱説明書をご確認ください。

WiDi（Wireless Display）を使用する

WiDi対応のPCの画面を本機の画面で無線表示できます。

1 本機の**Intel's WiDi**が**オン**になっていることを確認して、PCを無線LANのアクセスポイントに接続する。
アクセスポイントに接続しなくてもWiDi機能を使用できますが、アクセスポイントに接続することをおすすめします。

2 PCで、WiDi対応機器のリストが表示されたら、本機をクリックし、4桁の数字（本機の画面に表示されている）を入力する。
10秒程度でPCに本機の画面が表示されます。電波が弱いと画面が消えることがあります。

*インテルWiDiに対応しているPC（第2世代インテルCoreプロセッサを搭載）のみ可能です。
*本機が放送や外部入力（コンポジット入力／HDMI入力）の信号を受信しているときのみ可能です。
*本機はWiDiアダプターを内蔵しています。
*本機の光デジタル音声出力端子から出力される音声はPCMになります。
*WiDiについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.intel.com/go/widi

本機のソフトウェアアップデートについて

本機のソフトウェアを自動で更新して最新の状態にします。更新されていないと、本機の機能が正しく働かない場合があります。ソフトウェアのアップデートは手動でも行えます。

1 **ホーム**⌂ボタンを押して、マイアプリを表示する。

2 マイアプリから**設定➡サポート➡ソフトウェアダウンロード➡オン**を選んで、**ホイール（決定）**を押す。
新しいソフトウェアを発見すると本機が自動でダウンロードします。ダウンロードが終了するとソフトウェア更新画面が表示されます。

3 更新されたソフトウェアのバージョンを確認する。
インストールされたソフトウェアより新しいバージョンがあるときは、手動で更新できます。

注意

- 最新ソフトウェアはデジタル放送やインターネットを通じて取得します。
- デジタル放送からダウンロード中に設定変更すると、ダウンロードに影響します。初期化するとダウンロードが再開します。
- ソフトウェアが最新の状態に更新されていないと、本機の機能が正しく働かないことがあります。

困ったとき

故障かな？と思ったら

故障かな？と思われたら、販売店へご連絡される前に、下記のことを一度お確かめください。
それでも同じ症状が出ている場合には、ご自分では絶対に修理せず、お買い求めの販売店または、当社カスタマーサポートセンターへご相談ください。カスタマーサポートセンターについてのご案内は、75ページをご覧ください。

全般

このようなときは	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	39
リモコンが動作しない	• 乾電池の極性（⊕,⊖）が逆になっていませんか？	35
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか？	
	• リモコンの操作可能範囲で操作していますか？	
	• 標準リモコンはリモコン受光部に向けて使用していますか？	11
映像も音声も出ない	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	39
	• ビデオ入力などの外部機器入力を選んでいませんか？	42
	• チャンネルスキャンはしましたか？	操作ガイド
主電源を入れてから、映像・音声が出るのに時間がかかる	• 映像と音声が出るまでに、15秒程度の時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。1分以上待っても出ない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて1分程度置いてから入れ直してみてください。	-
色が薄い/色合いが悪い	• 色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか？	操作ガイド
映像は出るが音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか？	42
	• 消音状態になっていませんか？	42
	• ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか？	34
特定のチャンネルだけ映らない	• チャンネルがスキップされていませんか？	操作ガイド
	• **機器設定**の**地域設定**は正しいですか？	操作ガイド
勝手に電源が切れる	• **オフタイマー**、**無信号自動オフ**、**無操作自動オフ**が設定されていませんか？	操作ガイド
	• 視聴予約されていて電源スタンバイから自動電源オンされ、予約番組が終了時刻となったのではありませんか？	操作ガイド
	• 本機内部の温度が異常に上昇し、内部保護回路が動作した可能性があります。	69
全ての操作ボタンを受け付けない 本機で全く操作できない	• リモコンの乾電池が消耗していませんか？	35
	• リモコンの乾電池に問題がない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンボタンを操作してください。	39

アンテナ

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、必ず販売店へご相談ください。

このようなときは	ここをお調べください		ページ
映像が出ず、雑音のみ出る	• アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか？ • アンテナ線は正しく接続されていますか？		17
(BS、110度CSデジタル放送のとき) • 映像や音声が出ない、または時々出なくなる • 映像が時々静止する • 画面に四角のノイズが出たり、途切れたりする	1. BS/CSアンテナの向きがずれている。	1. **受信状況**でアンテナ入力レベルが最大になる角度にBS・CSアンテナを調節してください。	操作ガイド
	2. 雷雨や豪雨などにより、受信電波が弱くなり、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなる場合があります。	2. 天候が回復すると元に戻ります。	-
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 110度CSデジタル放送が受信できない	• アンテナが110度CSデジタル放送に対応していない。 • アンテナ線やブースター、分配器が110度CSデジタル放送に対応していない。	アンテナ、アンテナ線、ブースター、分配器は、110度CSデジタル放送に対応したものを使用してください。	17
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	本機とアンテナ線を接続するとき、デジタル放送に対応していないアンテナ線や分配器、分波器などを使用すると、PHSデジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受ける場合があります。	アンテナを接続する場合は、シールド性の良いBS・CSデジタル放送対応のアンテナ線や機器をご使用ください。	-
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 急に画質や音質が少し悪くなった	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、受信電波が弱くなっている場合は、電波が弱くなっても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。天候が回復すると元に戻ります。	-
(BS、110度CSデジタル放送のとき) 有料放送の視聴ができない	1. B-CASカードが正しく挿入されていない。	1. B-CASカードを正しく挿入してください。	23
	2. 有料放送を視聴するための手続きがされていない。	2. 視聴手続きを行ってください。	63
(地上デジタル放送のとき) • 映像や音声が出ない、または時々出なくなる • 映像が時々静止する • 画面に四角のノイズ(ブロックノイズ)が出たり、音声が途切れたりする	1. UHFアンテナの向きがずれている。	1. **受信状況**で、アンテナ入力レベルが最大になる角度にUHFアンテナを調節してください。	操作ガイド
	2. UHFアンテナが地上デジタル放送に対応していない。(特定チャンネル対応の場合など)	2. 地上デジタル放送に対応していない場合は、対応するUHFアンテナに交換してください。	17
	3. 放送局の送出出力が変化した。	3. ブースターをご使用の場合には受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整を見直してください。	20
(地上デジタル放送のとき) 地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の放送エリアからはずれている。	お客様のお住まいの地域で、地上デジタル放送が開始されているか確認してください。	64
地上デジタル放送で、放送局ロゴが表示されない	1. 地上デジタルの各放送を視聴せず、電子番組表などを見ている。	1. 地上デジタル放送の各チャンネルを10分程度視聴してから、電子番組表などを再度確認してください。	操作ガイド
	2. UHFアンテナの向きがずれている。	2. **受信状況**で、アンテナ受信レベルが最大になるようにアンテナの向きを調整してください。	-
電子番組表や、データ放送を見ていると、画面が1秒間程度暗くなる場合がある	視聴している番組が通常放送(SD放送)からハイビジョン放送(HD放送)に変わった場合、またこの逆の場合、本機のスクリーン情報の書き換えのために1秒間程度画面を暗くして映像の乱れを防止しています。		-

<table>
<tr><th>このようなときは</th><th colspan="2">ここをお調べください</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>番組表が表示されない</td><td colspan="2">• 全チャンネルの番組表を取得するには、電源オフ（コンセントは接続したまま）の状態で1時間程度放置してください。（番組表はスタンバイ状態のときに本機が自動的に全チャンネルを巡回して取得します。最大で6時間くらいかかることがあります。）
• 地上デジタル放送のテレビを視聴中は、視聴しているチャンネルのみ番組表が取得されます。また、8日分の番組表を取得するには、10分程度視聴し続ける必要があります。</td><td>-</td></tr>
<tr><td>予約が実行されない</td><td>録画／視聴予約で予約した後に、電源プラグがコンセントから抜けた。</td><td>録画／視聴予約で予約した場合は、電源プラグがコンセントから抜けていると予約が実行されません。</td><td>44</td></tr>
<tr><td rowspan="2">字幕や文字スーパーが出ない</td><td rowspan="2">1. メニューの文字スーパー表示、字幕表示がオフに設定されている。
2. 字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。</td><td>1. マイアプリから設定➡機器設定➡字幕設定➡字幕表示／文字スーパー表示を日本語または英語に設定してください。</td><td>操作ガイド</td></tr>
<tr><td>2. 字幕の場合、字幕が表示される番組を視聴してください。</td><td>-</td></tr>
<tr><td>ダウンロードを行なったら、受信できなくなった</td><td colspan="2">ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。</td><td>-</td></tr>
<tr><td>• デジタル放送やデータ放送の映像が静止したり、映らない
• デジタル放送やデータ放送の選局や操作ができない</td><td colspan="2">スタンバイランプが消灯してから主電源を入れ直してください。</td><td>39</td></tr>
</table>

USB機器やネットワークのコンテンツの再生

このようなときは	ここをお調べください	ページ
USB機器やネットワークのコンテンツの再生中に予約録画の開始で、テレビ画面に切り換わる	• USB機器やネットワークのコンテンツの再生中に、予約録画の開始で、テレビ画面に切換わります。 • 外付けUSBハードディスクへの番組録画中は、USB機器やネットワークのコンテンツを再生できません。 • USB機器やネットワークのコンテンツを再生中に予約録画開始時刻になると、予約録画の開始前に確認メッセージが表示されます。**予約録画の継続**を選択すると、USB機器やネットワークのコンテンツの再生を終了して、以前視聴していた放送や外部入力画面に自動的に切り換わります。**予約録画のキャンセル**を選択すると、USB機器やネットワークのコンテンツ再生を続けられます。	操作ガイド

HDMI対応機器を接続中のとき

<table>
<tr><th>このようなときは</th><th>ここをお調べください</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td rowspan="4">映像が出ない、乱れる</td><td>1. HDMIケーブルの接続を確認してください。</td><td>25</td></tr>
<tr><td>2. 一部の機器では、正常に動作しないことがあります。</td><td rowspan="2">-</td></tr>
<tr><td>3. 本体および接続機器の電源を入れてください。</td></tr>
<tr><td>4. 接続機器の設定を対応信号にしてください。</td><td>26</td></tr>
<tr><td rowspan="2">HDMI連動機器の操作ができない</td><td>• 推奨品ですか？</td><td>-</td></tr>
<tr><td>• 本機とHDMI機器の接続方法は正しいですか？</td><td>25</td></tr>
</table>

※ 当社カスタマーサポートセンターへご相談の際は、必要に応じて設定内容を確認させていただきます。

エラーメッセージ

種類	アイコン	エラーメッセージ	原因	対応
チャンネル		チャンネルが設定されていません。 チャンネルスキャンを行いますか？	チャンネルスキャンされていません。	地上デジタル放送の初期スキャンを実行してください。
		受信できるチャンネルが見つかりませんでした。 アンテナの接続状態を確認してください。	チャンネルスキャンで受信できるチャンネルが見つかりませんでした。	アンテナの設定・接続を確認してください。
		設定内容を初期化しますか？	チャンネル登録のリモコンボタンの設定内容を初期化します。	実行することでリモコンボタンの設定内容が購入時の設定内容に初期化されます。
設定		このチャンネルは、すでに別のボタンに登録されています。変更しますか？	すでに登録されているチャンネルを別のリモコンボタンに設定しました。	登録することで、すでに登録されているチャンネルを別のリモコンボタンに設定します。
		オーディオ機器の電源を入れるか、機器のモードが[LG TV]であることを確認してください。	オーディオ機器の電源が消えてます。	オーディオ機器の電源を入れてください。
			オーディオ機器のモードが[LG TV]ではありません。	オーディオ機器のモードを[LG TV]に設定してください。
受信		(E201):降雨対応番組に切り換えました。	信号レベルが低下したため、降雨対応番組に切換えました。	受信状況が回復することで通常番組に自動的に戻ります。
		(E202):信号を受信できません。 アンテナおよび受信状態をお確かめください。	信号レベルが低下しました。	アンテナの設定・接続を確認してください。
		(E203):信号レベルが低下しているか、放送が休止中です。	信号レベルが低下しているか、放送が休止中です。	他のチャンネルを選局して視聴するか、または番組表などで放送時間を確認してください。
		(E204):該当するチャンネルがありません。 チャンネル番号を確認してください。	該当するチャンネルはありません。	他のチャンネルを選局して視聴するか、または番組表などでチャンネルを確認してください。
		(E400) : データを受信できません。	データ放送の受信号状況が悪いです。	アンテナの設定･接続およびネットワークの接続を確認してください。
B-CAS		B-CASカードが差し込まれていません。 B-CASカードを正しく差し込んでください。	B-CASカードが差し込まれていません。	B-CASカードを正しく差し込んでください。
		(XXX):このB-CASカードは使用できません。	使用できないB-CASカードが挿入されました。 ※XXXはカードステータス	付属のB-CASカードを正しく差し込んでください。
		(XXX):このB-CASカードは交換が必要です。	交換が必要なB-CASカードが挿入されました。 ※XXXはカードステータス	B-CAS社のカスタマーサポートセンターに相談してください。
		(XXX):契約していないチャンネルです。	選局した番組は未契約です。 ※XXXはカードステータス	契約を希望するときは、該当の放送局のカスタマーサポートセンターに相談してください。
EPG		時刻の設定が必要です。 時刻の設定を行いますか？	時刻が設定されていません。	時刻の設定を確認してください。 自動になっている時は、アンテナの設定・接続を確認してください。

種類	アイコン	エラーメッセージ	原因	対応
予約	⚠	他の予約と重複しています 以前の予約を削除して予約しますか？	他の予約と重複しています。	他の予約と重複しています。 現在の予約処理を行うか以前の予約を行なうか選択してください。
	⚠	予約数が一杯です	予約件数が最大の50件となりました。	不要な予約を削除後に予約してください。
	⚠	録画時間は12時間を超えないように指定してください。	時間指定で、12時間を越えて予約しました。	時間指定で、12時間以内で指定してください。
	⚠	この番組は予約対象外のため、予約できません。	放送の種類がテレビ以外です。	放送の種類がテレビの番組を予約してください。
	⚠	予約に失敗しました。 しばらくしてからもう一度操作してください。	予約情報に問題が発生し復旧処理中です。	しばらくしてから、予約してください。
	⚠	開始時刻の設定が正しくありません。 設定した開始時刻を確認してください。	設定した録画時刻が間違っています。	録画設定時間を確認してください。
ハードディスク	⚠	録画用USBハードディスクを利用するには、USBハブなどを経由せずに、USB端子1に接続してください。	録画用USBハードディスクをハブに接続しました。	録画用USBハードディスクはUSB1（録画専用）端子に直接接続してください。
	⚠	録画用USBハードディスクの初期化を行うと、以前のデータはすべて削除されます。 初期化を行いますか？	録画用USBハードディスクに問題が起こりました。 初期化が必要です。	録画用USBハードディスクの接続を確認してください。 全ての録画番組を削除してもよければ、録画用USBハードディスクの初期化を行ってください。
	ⓘ	録画用USBハードディスクの初期化を失敗しました。	USB機器の初期化を失敗しました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。 録画用USBハードディスクに問題がある場合は、他のUSBハードディスクをご使用ください。
	ⓘ	初期化が必要な録画用USBハードディスクです。 録画を開始できません。	録画用USBハードディスク が初期化されていません。	録画用USBハードディスク の 初期化を行ってください。
	ⓘ	録画用USBハードディスクの読み込みに失敗しました。 初期化しますか？	USB機器の問題で、読み込みに失敗しました。	録画用USBハードディスクの接続や接続した録画用USBハードディスクをご確認ください。
	ⓘ	録画用USBハードディスクの初期化中です。 しばらくしてから操作してください。	USB機器の初期化中は、操作できません。	しばらくしてから操作してください。
	ⓘ	録画用USBハードディスクを修復しています。 しばらくしてから操作してください。	USB機器の修復中は、操作できません。	しばらくしてから操作してください。
	ⓘ	録画用USBハードディスクの修復に失敗しました。 初期化を行いますか？	USB機器の修復で失敗しました。	録画用USBハードディスクの接続や接続した録画用USBハードディスクをご確認ください。
録画		録画用USBハードディスクが正しく動作していません。 修復が必要です。	録画用USBハードディスクに問題が起こりました。	録画用USBハードディスクの接続を確認してください。
	⚠	指定したファイルの削除に失敗しました。	ファイルシステムに問題が発生し、ファイル削除を失敗しました。	しばらくしてから、削除してください。
	⚠	書き込み禁止ファイルの削除はできません。	書き込み禁止ファイルを削除しようとしました。	書き込み保護を解除して、削除を行ってください。
		録画用USBハードディスクの空き領域が不足しています。	USB機器の空き容量が不足しています。	USB機器の不要なファイルを削除してください。

種類	アイコン	エラーメッセージ	原因	対応
録画		録画機能の準備中です。 しばらくしてから操作してください。	録画機能の準備中です。	しばらくしてから、行ってください
		録画用USBハードディスクを修復しています。 しばらくお待ちください。	録画用USBハードディスクの修復中です。	録画用USBハードディスクの修復には、多少の時間が掛ります。修復完了後に操作できます。
		録画用USB機器が正しく動作していません。 修復しますか？	USB機器に問題があります。	USB機器の接続や接続したUSB機器をご確認ください。
		録画用USBハードディスクに録画された番組を削除しています。 しばらくしてから操作してください。	録画用USBハードディスクに録画された番組を削除しています。	しばらくしてから操作してください。
		録画機能が正しく動作していません。	メモリー不足などのシステムエラーにより録画機能に問題が起こりました。	USB機器の接続などを確認してください。 問題がなければ、テレビの電源を一度切ってから、再度入れ直してみてください。
		録画用USBハードディスクに録画中です。 録画を中止してから操作してください。	USB機器に録画中です。	録画を停止してから、行ってください。
		接続されたUSB機器は録画機能には対応していません。	対応していない録画用USBハードディスクが接続されました。 使用できる録画用USBハードディスクの最大容量は4TBまでです。	他の録画用USBハードディスクをご使用ください。
		ビデオ入力では録画できません。	ビデオ入力で録画操作を行いました。	テレビ入力で録画を行ってください。
		コンポーネント入力では録画できません。	コンポーネント入力で録画操作を行いました。	テレビ入力で録画を行ってください。
		HDMI入力は録画できません。	HDMI入力で録画操作を行いました。	テレビ入力で録画を行ってください。
		録画リストが正しく動作していません。 録画に失敗しました。	録画用USBハードディスクに問題が起きました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。
		録画用USBハードディスクが正しく動作していません。 録画を終了します。	録画用USBハードディスクに問題が起きました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。
		信号がありません。 予約録画の開始に失敗しました。	無信号です。	アンテナの設定・接続を確認してください。
		時刻設定に誤りがあります。 予約録画の開始に失敗しました。	時刻設定に誤りが発生しました。	時刻設定を確認してください。 時刻設定の手動での変更にはご注意ください。
		ワンタッチ録画の開始に失敗しました。	録画用USBハードディスクに問題があるため、ワンタッチ録画を失敗しました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。
		録画禁止番組です。 録画に失敗しました。	録画禁止番組を録画しようとしました。	録画禁止番組は録画できません。 録画可能な番組を録画してください。
		現在、録画を中止することができません。 10秒以上経過してからもう一度操作してください。	10秒以下で録画停止を行いました。	10秒以上経過後に録画停止を行ってください。
		録画数がいっぱいになりました。 録画リストを確認してください。		不要な録画番組を削除してから、録画してください。

種類	アイコン	エラーメッセージ	原因	対応
録画	?	録画用USBハードディスクの空き容量が不足しています。 不要な録画番組を削除しますか？	録画用USBハードディスクの容量が不足しています。	不要な録画番組を削除してください。
	⚠	録画数がいっぱいになりました。 録画リストを確認してください。	録画された番組数が、録画可能最大数の600です。	不要な録画番組を削除してください。
再生	i	録画番組を再生しています。 再生を中断してから、もう一度操作してください。	録画番組の再生中はできない操作です。	録画番組の再生を停止してから操作してください。
		録画用USBハードディスクが正しく動作していません。 再生を終了します。	録画用USBハードディスクに問題が起こりました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。
	X	USB機器が正しく動作しませんでした。 再生を終了します。	USB機器の読み込みに問題が起こり、再生を停止しました。	USB機器の接続などを確認してください。
	⚠	再生できないファイル形式です。	対応していないファイルを再生しようとしました。	再生する写真、動画ファイルを確認してください。
	⚠	音声をサポートしないファイル形式です。	対応していないオーディオを再生しようとしました。	再生するファイルを確認してください。
	⚠	この機能は、現在有効ではありません。	再生途中は操作できません。	再生中に録画などを行うことはできません。
削除	⚠	削除するファイルがありません。	削除するファイルが選択されていません。	削除するファイルを選択してください。
		再生中の録画番組は削除することはできません。	再生中の録画番組を削除しようとしました。	再生を停止してから削除してください。
USB	i	接続されたUSB機器は、USBハブを含め6台まで表示されます。 利用しないUSB機器を取り外してください。	USB機器が6個を超えて接続されました。	不要なUSB機器は外し、6個までで接続してください。
	⚠	削除に失敗しました。	USB機器の問題で削除できません。	USB機器の接続や接続したUSB機器をご確認ください。
		USB機器が正しく動作していません。	USB機器の転送速度に問題があります。	USB機器の接続や接続したUSB機器をご確認ください。
		接続されたUSB機器がありません。	USB機器が接続されていません。	USB機器を接続してください。
		USB機器が正しく動作していません。	USB機器のリードライトに問題が起こりました。	USB機器の接続や接続したUSB機器をご確認ください。
	i	初期化が必要なUSB機器です。	初期されていないUSB機器が接続されました。	USB機器の初期化を行ってください。
ハブ	i	複数台のUSBハブを同時に接続することはできません。	USBハブをUSBハブに接続しました。	USBハブはUSB2端子に1つだけ接続してください。
		USBハブを利用するには、USB端子2に接続してください。	USBハブをUSB2端子以外に接続しました。	USBハブはUSB2端子に接続してください。

その他

3D映像を見るときのご注意

本機は3D放送を受信しているとき、LAN回線を介して3Dコンテンツを再生するとき、またはテレビを3D対応している機器（ブルーレイ3Dプレーヤーなど）に接続しているときに、3D映像を表示することができます。
3D形式の映像は左右の目で異なる映像を見ることになります。
3D形式の映像を視聴するには、3Dメガネが必要です。
3Dを視聴する時は、下記の内容をよく読んでから視聴してください。

警告

視聴環境

- 視聴時間
  - 3Dコンテンツを視聴するときは、1時間ごとに5～15分の休憩をとってください。長時間3Dコンテンツを見続けると、頭痛やめまい、疲労、眼精疲労の原因となります。
- 視聴距離
  - 3Dコンテンツを視聴するときは、テレビ画面サイズ（対角）の2倍以上の距離をとってください。3Dコンテンツを見づらい場合はテレビから離れてください。

視聴年齢

- 乳幼児／子供
  - 3D視聴は、保護者と一緒に視聴するようにしてください。
    5歳以下のお子様の3D視聴については、視覚発達段階にあるため、必要に応じて医師にご相談ください。
- 高齢者
  - 高齢者の場合、若い人よりも3D効果を感じられないことがあります。推奨されている視聴距離を保って視聴してください。

光過敏性発作または慢性疾患がある場合

- フラッシュライトや3Dコンテンツ特有の映像パターンにさらされていると、発作が起きたり異常を感じることがあります。
- 吐き気を感じたときや、てんかんや心疾患の既往症がある場合、または血圧に異常がある場合などは3Dコンテンツを視聴しないでください。
- 立体的に見えない場合や不調を感じる場合は、3Dコンテンツの視聴をおすすめしません。二重に見えたり、ぼやけたりすることがあります。
- 斜視（内斜視）、弱視、乱視の症状がある人は、立体的に感じなかったり、二重映像によって疲れやすくなることがあります。休憩を多くとってください。
- 両目の視力に差がある場合は、3Dコンテンツを視聴できるように視力を矯正してください。

3Dコンテンツの視聴を中止／自粛しなければならない症状について

- 睡眠不足や過労、飲酒によって疲れている場合は、3Dコンテンツを視聴しないでください。
- 次のような症状がある場合は、3Dコンテンツの視聴／利用を中止してください。
  - 症状が続く場合は医師に相談してください。
    頭痛、眼球の痛み、めまい、吐き気、動悸、不明瞭感、不快感、二重に見える、視聴不良、疲れ

3Dメガネ使用上のご注意

- 3Dコンテンツを視聴するには、必ずLG製の3Dメガネを使用してください。
- 矯正メガネ、サングラス、保護用ゴーグルの代わりに3Dメガネを使用しないでください。
- 3Dメガネを改造しないでください。目が疲れたり、歪んで見えたりすることがあります。
- 極端に高温または低温になる場所に3Dメガネを保管しないでください。3Dメガネが変形することがあります。
- 3Dメガネのレンズは傷つきやすいため、柔らかく清潔な布（3Dメガネに付属のクリーニングクロスなど）で拭いてください。3Dメガネのレンズを鋭利なもので傷つけないでください。化学薬品は使用しないでください。

使用上のご注意

お手入れ

お手入れは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

キャビネットのお手入れ

- キャビネットは、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはげたりすることがあります。
- 汚れは柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

スクリーン（液晶パネル）のお手入れ

- 本機のスクリーンの表面は、クリーニングクロスまたは柔らかい布（綿、ネルなど）で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭くと表面に傷がつきますのでご注意ください。
- 指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 画面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ（静電気除去ブラシ）をお使いください。

結露について

設置時や冷暖房機器などで急激に温度差の影響を受けると、本機内部で結露が発生することがあります。
そのまま使用すると故障の原因となりますので、いったん電源を切り、本機の電源プラグをコンセントから抜いて一定の温度の場所にしばらく置いてからご使用ください。

天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

110度CSデジタル放送をご覧になるには

110度CSデジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHzまたはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい映像でお楽しみ頂くためにも定期的に点検・交換することをおすすめします。特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

操作できなくなった場合は

本機が操作できなくなった場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて、1分間ほど待ってから、再度電源プラグをコンセントに入れ、リモコンで電源を入れてご確認ください。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz~2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナ線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナ線や分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

赤外線通信機器について

赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

本機に記憶される個人情報などについて

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄、譲渡などする場合には**初期化**（テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください）を実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- B-CASカードの紛失および故障などについては、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。
  お問い合わせ
  カスタマーサポートセンター
  TEL.0570-000-250

録画・録音について

- 著作権保護のため、コピー禁止された番組は録画することができません。
- 録画・録音した番組は、個人で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
  録画・録音したものを権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどに送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されていますので、ご注意ください。
  なお、著作権法違反によって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いませんので、自己責任のもとでご利用ください。

2D➡3D機能について

- 当機能を使うと、本機側での映像変換により、オリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、当機能をお使いください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、当機能を利用して2D映像を3D変換して表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

画面で発生することがある有色の点について

液晶パネルは非常に精密な技術で作られていますが、ごくまれに（0.01%以下）、画素欠けや常時点灯する画素が発生してしまうことがあります。
画面上の一部に黒い点（常に光らない画素）や輝点（常時点灯する画素）のある場合があっても、これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクについて

- USBハードディスクは非常に精密な機器です。使用状況によっては部分的に破損して、再生映像にノイズが出たり、最悪の場合は録画や再生が全くできなくなることがあります。
- USBハードディスクには寿命があり、使用状態によっては数年で異常をきたす場合があります。USBハードディスクに録画した映像にノイズが発生しやすくなった場合は、USBハードディスクを交換してください。
- 本機では複数のUSBハードディスクを交換して使用することができますが、ひとつのUSBハードディスクを複数のテレビで使用することはできません。番組を録画したUSBハードディスクを別のテレビに取り付けて使用する場合は、初期化をしてください。
- 本機を長時間使用しないときにはUSBハードディスクの機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて本機を使用してください。

その他の留意点について

- 万一、本機の故障や受信障害などにより、視聴および録画、録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。
- この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
- 地震・雷など自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- USBハードディスクの動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりすると、録画された内容がすべて消えたり、ハードディスクが故障したりすることがありますので、注意してください。
- USBハードディスクに正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部または全てが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

デジタル放送について

BS デジタル／ 110 度 CS デジタルの有料放送視聴の手続きについて

BSデジタル、110度CSデジタルの有料放送サービスを受信するためには、B-CASカードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。
BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）にお問い合わせください。

デジタル放送全般については
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページをご覧ください。
http://www.dpa.or.jp

地上デジタルの受信相談については
デジサポ（総務省テレビ受信者支援センター）にお問い合わせください。
電話番号0570-07-0101
ホームページ：http://digisuppo.jp

BS デジタル放送での地上デジタル放送（セーフティネット）について

- BS291からBS298は、地上デジタル放送を通常アンテナにて視聴できない地域の視聴者へ、BSデジタルの地上デジタル再送信放送により視聴を可能としているものです。
- 視聴するには、ご視聴される方々のお住まいの場所が指定された難視聴地域であり、BS291などの案内画面に従って、視聴申請をする必要があります。

地上デジタル放送地域名表

例：

1	リモコンボタンの番号
011	受信チャンネル
HBC 旭川	放送局名

都道 府県	リモコンボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道 （全域）	011	021	031		051	061	071	081				
	HBC 北海道 放送	NHK Eテレ 札幌	NHK 総合 札幌		STV 札幌 テレビ	HTB 北海道 テレビ	TVH	UHB				
北海道 （旭川）	011	021	031		051	061	071	081				
	HBC 旭川	NHK Eテレ 旭川	NHK 総合 旭川		STV 旭川	HTB 旭川	TVH 旭川	UHB 旭川				
北海道 （帯広）	011	021	031		051	061	071	081				
	HBC 帯広	NHK Eテレ 帯広	NHK 総合 帯広		STV 帯広	HTB 帯広	TVH 帯広	UHB 帯広				
北海道 （釧路）	011	021	031		051	061	071	081				
	HBC 釧路	NHK Eテレ 釧路	NHK 総合 釧路		STV 釧路	HTB 釧路	TVH 釧路	UHB 釧路				
北海道 （北見）	011	021	031		051	061	071	081				
	HBC 北見	NHK Eテレ 北見	NHK 総合 北見		STV 北見	HTB 北見	TVH 北見	UHB 北見				
北海道 （室蘭）	011	021	031		051	061	071	081				
	HBC 室蘭	NHK Eテレ 室蘭	NHK 総合 室蘭		STV 室蘭	HTB 室蘭	TVH 室蘭	UHB 室蘭				
北海道 （札幌）	011	021	031		051	061	071	081				
	HBC 札幌	NHK Eテレ 札幌	NHK 総合 札幌		STV 札幌	HTB 札幌	TVH 札幌	UHB 札幌				
北海道 （函館）	011	021	031		051	061	071	081				
	HBC 函館	NHK Eテレ 函館	NHK 総合 函館		STV 函館	HTB 函館	TVH 函館	UHB 函館				
東北 （青森）	011	021	031		051	061						
	RAB 青森放送	NHK Eテレ 青森	NHK 総合 青森		青森 朝日放送	ATV 青森 テレビ						
東北 （岩手）	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 盛岡	NHK Eテレ 盛岡		テレビ 岩手	岩手 朝日 テレビ	IBC テレビ		めんこい テレビ				
東北 （宮城）	011	021	031	041	051			081				
	TBC テレビ	NHK Eテレ 仙台	NHK 総合 仙台	ミヤギ テレビ	KHB 東日本 放送			仙台放送				
東北 （秋田）	011	021		041	051			081				
	NHK 総合 秋田	NHK Eテレ 秋田		ABS 秋田放送	AAB秋田 朝日放送			AKT 秋田 テレビ				
東北 （山形）	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 山形	NHK Eテレ 山形		YBC 山形放送	YTS 山形 テレビ	テレビユー 山形		さくらんぼ テレビ				
東北 （福島）	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 福島	NHK Eテレ 福島		福島中央 テレビ	KFB 福島放送	テレビユー 福島		福島 テレビ				

都道府県	リモコンボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
関東 (茨城)	011	021		041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 水戸	NHK Eテレ 東京		日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (栃木)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK Eテレ 東京	とちぎ テレビ	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (群馬)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK Eテレ 東京	群馬 テレビ	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (埼玉)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK Eテレ 東京	テレ玉	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (千葉)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK Eテレ 東京	チバ テレビ	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (東京)	011	021		041	051	061	071	081	091			121
	NHK 総合 東京	NHK Eテレ 東京		日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン	TOKYO MX			放送大学
関東 (神奈川)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK Eテレ 東京	tvk	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
甲信越 (新潟)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 新潟	NHK Eテレ 新潟		TeNY テレビ 新潟	新潟 テレビ21	BSN		NST				
甲信越 (山梨)	011	021		041		061						
	NHK 総合 甲府	NHK Eテレ 甲府		YBS 山梨放送		UTY						
甲信越 (長野)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 長野	NHK Eテレ 長野		テレビ 信州	abn長野 朝日放送	SBC 信越放送		NBS 長野放送				
中部 (富山)	011	021	031			061		081				
	KNB テレビ	NHK Eテレ 富山	NHK 総合 富山			チューリップ テレビ		BBT 富山 テレビ				
中部 (石川)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 金沢	NHK Eテレ 金沢		テレビ 金沢	北陸 朝日放送	MRO		石川 テレビ				
中部 (福井)	011	021					071	081				
	NHK 総合 福井	NHK Eテレ 福井					FBC テレビ	福井 テレビ				
中部 (岐阜)	011	021	031	041	051	061		081				
	東海 テレビ	NHK Eテレ 名古屋	NHK 総合 岐阜	中京 テレビ	CBC	メ~テレ		さぶ チャン				
中部 (静岡)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 静岡	NHK Eテレ 静岡		だいいち テレビ	あさひ テレビ	SBS		テレビ 静岡				
中部 (愛知)	011	021	031	041	051	061				101		
	東海 テレビ	NHK Eテレ 名古屋	NHK 総合 名古屋	中京 テレビ	CBC	メ~テレ				テレビ 愛知		

都道府県	リモコンボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中部（三重）	011	021	031	041	051	061	071					
	東海 テレビ	NHK Eテレ 名古屋	NHK 総合・津	中京 テレビ	CBC	メ~テレ	三重 テレビ					
近畿（滋賀）	011	021	031	041		061		081		101		
	NHK 総合 大津	NHK Eテレ 大阪	BBC びわこ 放送	MBS 毎日放送		ABC テレビ		関西 テレビ		読売 テレビ		
近畿（京都）	011	021		041	051	061		081		101		
	NHK 総合 京都	NHK Eテレ 大阪		MBS 毎日放送	KBS 京都	ABC テレビ		関西 テレビ		読売 テレビ		
近畿（大阪）	011	021		041		061	071	081		101		
	NHK 総合 大阪	NHK Eテレ 大阪		MBS 毎日放送		ABC テレビ	テレビ 大阪	関西 テレビ		読売 テレビ		
近畿（兵庫）	011	021	031	041		061		081		101		
	NHK 総合 神戸	NHK Eテレ 大阪	サン テレビ	MBS 毎日放送		ABC テレビ		関西 テレビ		読売 テレビ		
近畿（奈良）	011	021		041		061		081	091	101		
	NHK 総合 奈良	NHK Eテレ 大阪		MBS 毎日放送		ABC テレビ		関西 テレビ	奈良 テレビ	読売 テレビ		
近畿（和歌山）	011	021		041	051	061		081		101		
	NHK Eテレ 和歌山	NHK Eテレ 大阪		MBS 毎日放送	テレビ 和歌山	ABC テレビ		関西 テレビ		読売 テレビ		
中国（鳥取）	011	021	031			061		081				
	日本海 テレビ	NHK Eテレ 鳥取	NHK 総合 鳥取			BSS テレビ		山陰 中央 テレビ				
中国（島根）	011	021	031			061		081				
	日本海 テレビ	NHK Eテレ 松江	NHK 総合 松江			BSS テレビ		山陰中央 テレビ				
中国（岡山）	011	021		041	051	061	071	081				
	NHK 総合 岡山	NHK Eテレ 岡山		RNC 西日本 テレビ	KSB 瀬戸内海 放送	RSK テレビ	テレビ せとうち	OHK テレビ				
中国（広島）	011	021	031	041	051			081				
	NHK 総合 広島	NHK Eテレ 広島	RCC テレビ	広島 テレビ	広島 ホーム テレビ			TSS				
中国（山口）	011	021	031	041	051							
	NHK 総合 山口	NHK Eテレ 山口	tys テレビ 山口	KRY 山口放送	yab 山口朝日							
四国（徳島）	011	021	031									
	四国放送	NHK Eテレ 徳島	NHK 総合 徳島									
四国（香川）	011	021		041	051	061	071	081				
	NHK 総合 高松	NHK Eテレ 高松		RNC 西日本 テレビ	KSB 瀬戸内海 放送	RSK テレビ	テレビ せとうち	OHK テレビ				
四国（愛媛）	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 松山	NHK Eテレ 松山		南海放送	愛媛朝日	あい テレビ		テレビ 愛媛				
四国（高知）	011	021		041		061		081				
	NHK 総合 高知	NHK Eテレ 高知		高知放送		テレビ 高知		さんさん テレビ				

都道府県	リモコンボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
九州 沖縄 （福岡）	011	021	031	041	051		071	081	021、031は、NHK Eテレ・北九州、NHK 総合・北九州が設定されることがあります。			
	KBC九州 朝日放送	NHK Eテレ 福岡	NHK 総合 福岡	RKB 毎日放送	FBS 福岡放送		TVQ 九州放送	TNC テレビ 西日本				
九州 沖縄 （佐賀）	011	021	031									
	NHK 総合 佐賀	NHK Eテレ 佐賀	STS サガ テレビ									
九州 沖縄 （長崎）	011	021	031	041	051			081				
	NHK 総合 長崎	NHK Eテレ 長崎	NBC 長崎放送	NIB 長崎国際 テレビ	NCC 長崎文化 放送			KTN テレビ 長崎				
九州 沖縄 （熊本）	011	021	031	041	051			081				
	NHK 総合 熊本	NHK Eテレ 熊本	RKK 熊本放送	KKT くまもと 県民	KAB 熊本朝日 放送			TKU テレビ 熊本				
九州 沖縄 （大分）	011	021	031	041	051							
	NHK 総合 大分	NHK Eテレ 大分	OBS 大分放送	TOS テレビ 大分	OAB 大分朝日 放送							
九州 沖縄 （宮崎）	011	021	031			061						
	NHK 総合 宮崎	NHK Eテレ 宮崎	UMK テレビ 宮崎			MRT 宮崎放送						
九州 沖縄 （鹿児島）	011	021	031	041	051			081				
	MBC 南日本 放送	NHK Eテレ 鹿児島	NHK 総合 鹿児島	KYT 鹿児島 読売TV	KKB 鹿児島 放送			KTS 鹿児島 テレビ				
九州 沖縄 （沖縄）	011	021	031		051			081				
	NHK 総合 那覇	NHK Eテレ 那覇	RBC テレビ		QAB 琉球朝日 放送			沖縄 テレビ （OTV）				

2012年11月現在

お買い上げ時の設定

設定				
映像	映像省エネ設定			オフ
	3D設定	3D映像モード		スタンダード
	映像モード			標準
	画面サイズ			16:9
	ピクチャーウィザード			
音声	スマートサウンド			オフ
	サウンドモード			標準
	バーチャルサラウンド			オフ
	クリアボイスII			オフ
	音量設定	自動音量		オフ
		音量コントロール		中
	スピーカー設定			スピーカー出力
	AVシンク			オフ
	オプション設定	バランス		0
		設置ポジション設定		標準
チャンネル設定	アンテナ設定	地上デジタル	レベル音	オフ
			受信帯域	視聴帯域
			チャンネル	視聴チャンネル
			信号強度	
		衛星	レベル音	オフ
			アンテナ電源供給	オフ
			トランスポンダー	視聴トランスポンダー
			信号強度	
	B-CAS情報確認			ー
タイマー設定	時刻設定			自動
	オフタイマー	繰返し		オフ
		時刻		23時00分
	オンタイマー	繰返し		オフ
		時刻		6時30分
		入力切換		テレビ
		チャンネル		BS 101
		音量		30
	スリープタイマー			オフ
ロック	暗証番号設定			0000
	ロック			オフ
	視聴制限設定			制限なし
	アプリの使用制限			全アプリ制限なし

機器設定	ボイスサーチ対応言語		日本語
	機器省エネ設定	無信号自動オフ	無効
		無信号判定時間	3時間
		無操作自動オフ	無効
		無操作判定時間	3時間
	地域設定		ー
	サービス対象国の設定		自動設定
	字幕設定	字幕	オフ
		文字スーパー表示	オフ
	LGロゴライト	明るさ	弱
		テレビ電源投入時	すぐにオフ
	ポインター設定	ポインター速度	普通
		ポインタータイプ	Aタイプ
		ポインターサイズ	中
		自動ポジション	オフ
	ヒントの表示		オン
	モーション認識		オフ
	ボイスサーチアシスタント		オフ
	モード設定		初期設定時のモード
ネットワーク	Wi-Fi Direct		オフ
	Intel's WiDi		オフ
	マイテレビ名称		
サポート	ソフトウェアダウンロード	ソフトウェアダウンロード	オン

録画設定		
機器設定	録画モード	標準
	LIVE PLAYBACK	オン
	ワンタッチ録画	自動
	HDD省エネ設定	省エネ
	データ自動削除	オフ

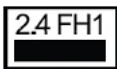
仕様

形名		32LA6400 (32LA6400-JA)	42LA6400 (42LA6400-JA)	47LA6400 (47LA6400-JA)	55LA6400 (55LA6400-JA)
外形寸法（mm） （幅×高さ×奥行）	スタンド付き	743 × 518 × 241	973 × 652 × 294	1086 × 711 × 327	1260 × 821 × 343
	スタンド無し	743 × 461 × 36.4	973 × 591 × 36.3	1086 × 654 × 36.3	1260 × 753 × 36.3
質量（kg）	スタンド付き	9.2	14.2	17.5	24.2
	スタンド無し	8.0	12.4	15.0	21.5
消費電力		90 W	110 W	120 W	140 W
待機時消費電力		0.3 W	0.3 W	0.3 W	0.3 W
年間消費電力（注１）		76 kWh/ 年	87 kWh/ 年	95 kWh/ 年	115 kWh/ 年
液晶画面	画面寸法（mm） （H × V）	698.4 × 392.8	927.9 × 521.9	1039.6 × 584.8	1209.6 × 680.4
	駆動方式	IPS			
	画素数	1920 x 1080			
電源		AC 100 V、50/60 Hz			
音声出力		10 W ＋ 10 W			
受信チャンネル		地上デジタル（CATV パススルー対応） VHF 1 -12、UHF 13 - 62、CATV C13 - C63 BS デジタル 000 - 999 ch 110度CS デジタル 000 - 999ch（右旋回偏波）			
アンテナ入力端子インピーダンス		75 Ω			
端子		24ページをご参照			
動作条件	温度	動作時：0 ℃ - 40 ℃ 保管/輸送時：-20 ℃ - 60 ℃			
	湿度	動作時：0 % - 80 %（乾式湿度計による相対湿度） 非動作時：0 % - 85 %（乾式湿度計による相対湿度）			

Bluetooth モジュール (BM-LDS401) 仕様	
動作環境	Bluetooth Version 3.0
使用周波数	2400 MHz - 2483.5 MHz
無線出力	10 dBm 以下

（注１）年間消費電力量は省エネルギー法に準拠して、一般家庭での平均視聴時間（約4.5 時間/日）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。（This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.）

2.4 FH1

この表示のある無線機器は、2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として FH-SS 方式を採用し、与干渉距離は 10m です 。

＜本製品の使用上の注意事項＞

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。

2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など) についてご相談して下さい。

3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせ下さい。

Green Mark

本製品は、日本工業規格（JIS C0950：2008）における「電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」（通称J-Moss）の規定する特定化学物質の含有率が基準値以下に管理された製品であるため、J-Moss グリーンマークを表示しています。

特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有についての情報は下記Webサイトをご覧ください。

Webサイト：http://www.lg.com/jp サイトから j-mossで検索してください。

登録商標

ACCESS™ NetFront

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
  ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびそのほかの国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。

  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

FontAvenue

- 本製品には、日本電気株式会社のFONT『FontAvenue』を使用しています。

INSPIRIUM

- 本製品には、富士通株式会社の『Inspirium DRM ライブラリ For Marlin 3.0』を使用しています。

- アクトビラロゴマーク、およびacTVila、アクトビラは（株）アクトビラの商標または登録商標です。

DOLBY DIGITAL PLUS

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

- HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの登録商標または商標です。

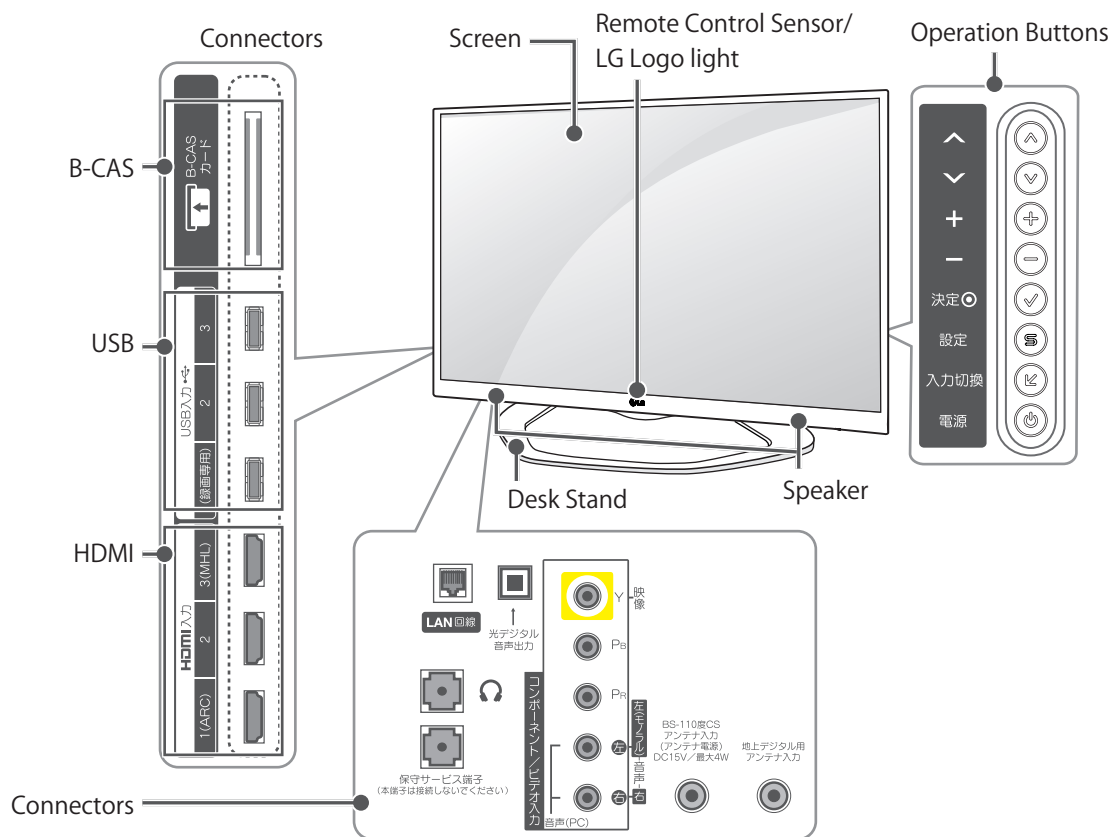
- DLNA® DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED®はDigital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、保証マークです。

- DIVXビデオについて：DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX、LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオ再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。
- DIVXビデオオンデマンドについて：DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。
- プレミアムコンテンツを含む最高HD 1080pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
- 次の1つ以上の米国特許により保護されています：7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

- アメリカ特許5,956,674；5,974,380；6,487,535およびアメリカ以外の国ですでに発給、または 申請状態の特許をベースに製造されました。DTS、シンボル& DTSおよびシンボルは登録商標でありDTS 2.0+Digital Out はDTSのの登録商標です著作権および版権はDTS,Inc.の所有です。

オープンソースソフトウェアの通知

GPL、LGPL、MPL及び、その他のオープンソースライセンスで開発されたソースコードの入手は**http://opensource.lge.com/**のWEBサイトをご覧ください。GPL、LGPL、MPL及び、その他のライセンス内容は、ソースコードと共にダウンロードすることができます。
また、弊社はお客様のご負担（メディア代、送料や手数料など）にてCD-ROMでオープンソースコードを提供しています。Eメールにて次のアドレスへCD-ROMをお申し込みください：opensouce@lge.com
このお申し込みは本製品をご購入後3年以内にかぎり有効となっておりますのでご注意ください。

Simple English Guide

Button	Description
⌃ ⌄	CHANNEL Buttons
+ −	VOLUME Buttons
決定	ENTER/CONFIRM Button
設定	MENU Button
入力切換	INPUT Selection Button
電源	POWER Button

保証とアフターサービス

テレビの修理受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

製品についてのご相談や、修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。
転居などで販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

LG Electronics Japan（株）カスタマーサポートセンター

（フリーダイヤル） **0120-813-023**

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

IP電話などからフリーダイヤルがご利用いただけない場合は　TEL：03-5675-7323

受付時間　■月曜～金曜　09:00～20：00　■土曜・日曜・祝日　09:00～18:00（年末年始を除く）

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

修理を依頼されるときは

本書の**困ったとき**（52ページ）を参照して調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

■ 保証期間中
保証書の規定に従って、販売店または当社サービスセンターが修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているとき
修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金について
修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代：修理に使用した部品代金です。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。駐車料金を戴く場合もあります。

■ 修理ご依頼の際にご連絡いただきたい内容
- 品名　：LED テレビ
- 型名　：
- 製造番号　：
- お買い上げ日　：＿＿年＿＿月＿＿日
- ご購入店名　：
- 故障の状況　：できるだけ具体的に
- ご住所　：
- お名前　：
- 電話番号　：

<ご注意>
保証期間中に正常な使用状態で故障した場合は無料修理させていただきますが、保証書の提示がない場合や、一般家庭外（たとえば業務用）で使用したことによる故障修理は有料修理となります。詳しくは保証書記載の[無料修理規定]をご確認ください。

■ 保証書（別添）について
ご購入の際は、ご購入の年月日、販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。製造番号は安全確保上重要なものです。商品本体の製造番号と保証書記載の製造番号が一致しているかお確かめください。

■ 部品について
液晶テレビの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後８年間です。修理のために交換、取り外した部品は当社で引き取らせていただきます。また、修理の際に当社の品質技術基準に適合した再利用部品を使用することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

愛情点検

このようなことはありませんか？
ーー長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ーー
●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物が入った。

このような場合はご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

LG Electronics Japan 株式会社
〒107-8512　東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階

テレビの型名と製造番号は、背面または側面に記載されています。サービスご依頼時に必要となりますので、下記に記入することをおすすめします。

型名 ______________________

製造番号 ______________________